

第9回

越谷市教育委員会議事録

令和元年（2019年）8月1日

臨時会



## 令和元年第9回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和元年8月1日（午前の部）  
招集の場所 第3委員会室  
開閉会日時 開会8月1日 午前 9時30分  
閉会8月1日 午後12時00分

### 出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職務代理者	野 口 久 男
委 員	堀 川 智 子	委 員	進 藤 秀 子
委 員	荒 木 明 子	委 員	渡 辺 律 子

欠席委員 な し

### 説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	永 福 徹	学校教育部長	岡 本 順
教育総務課長	渡 辺 真 浩	学校教育部 副参事兼 指導課長	山 口 徳 明
		学 務 課 長	佐々木 清
		指導課調整幹	菊 池 邦 隆
		教育センター 調 整 幹	田 嶋 栄 蔵

### 職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課  
副 課 長 並 木 智 史

## 令和元年第9回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和元年8月1日（午後の部）  
招集の場所 第3委員会室  
開閉会日時 開会8月1日 午後 1時00分  
閉会8月1日 午後 4時25分

### 出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職務代理者	野 口 久 男
委 員	堀 川 智 子	委 員	進 藤 秀 子
委 員	荒 木 明 子	委 員	渡 辺 律 子

欠席委員 な し

### 説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	永 福 徹	学校教育部長	岡 本 順
教育総務課長	渡 辺 真 浩	学校教育部 副参事兼 指導課長	山 口 徳 明
		学 務 課 長	佐々木 清
		指導課調整幹	菊 池 邦 隆
		教育センター 調 整 幹	田 嶋 栄 蔵

### 職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副 課 長	並 木 智 史
----------------	---------

	議 事	て ん 末
議 事 状 況	議 案	
	・第37号議案 令和元年度使用小中学校教科用図書の採択について	審議継続

---

◎開会の宣告

**吉田教育長** それでは、これより8月の臨時教育委員会会議を開会いたします。

本臨時会に関し、12名の方から傍聴許可願が提出されておりますので、許可します。また、会議中に許可願が提出された場合は、同様に許可いたします。

(午前 9時30分)

---

◎第37号議案 令和2年度使用小中学校教科用図書の採択について

**吉田教育長** それでは、7月25日に行われた7月定例教育委員会会議において継続審議となっております第37号議案「令和2年度使用小中学校教科用図書の採択について」審議を行います。

審議に入る前に委員の皆様にお諮りをいたします。

採択の方法ですが、種目ごとに全部の教科用図書発行者について、私及び委員がそれぞれ5段階で評価した上で順次無記名で投票し、評価点数の総合計が最も高い教科用図書発行者を採択することにしたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

**吉田教育長** ここで傍聴人の方にお知らせいたします。

傍聴の心得にあるように、議案の進行を妨げるような言動はお控えいただきますようお願いいたします。静粛な会議の進行にご協力をお願いいたします。

中学校技術の教科用図書について審議いたします。

まず初めに、今回の令和2年度使用小中学校教科用図書の採択について、改めて指導課長から説明をお願いします。

指導課長。

**山口指導課長** 今年度採択する小学校用教科用図書は14種目でございます。今回10年ごとに改訂される文部科学省が定める教育課程の基準、学習指導要領が改訂されたことを受けて、教科用図書が変更されることとなりました。したがって、令和2年度からの小学校新学習指導要領全面实施に伴い、道徳を含めた全ての教科で採択を実施いたします。

なお、道徳につきましては、2年前に採択を行い、特別な教科として先行実施しておりますが、昨年度新学習指導要領にのっとり改めて検定を行っておりますので、他の教科と同様に採択を行います。なお、採択された教科用図書につきましては、令和2年度から4年間の使用となります。

中学校教科用図書につきましては、昨年度採択した道徳を除いた16種目でございます。今回義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び同法施行令第15条の規定に基づき、道徳を除いた教科用図書の採択が4年を経過することから実施するものでございます。

なお、令和3年度から中学校の学習指導要領が改訂され、中学校新学習指導要領全面实施とな

ることから、採択された教科用図書につきましては、令和2年度から1年間の使用となります。  
中学校新学習指導要領全面実施に伴う教科用図書の採択につきましては、令和2年度に実施する  
予定でございます。

採択の手順につきましては、越谷市立小中学校使用教科用図書採択事務要領に基づき行います。

初めに、越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会委員より選定資料に基づく報告を行い、  
続いて教育長及び教育委員の皆様からの質疑にお答えいたします。その後、教育長及び教育委員  
の皆様でご審議いただいた後、採択をお願いいたします。

以上でございます。

**吉田教育長** 選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

[選定委員入室]

**吉田教育長** 技術の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

**金塚選定委員（北越谷小教頭）** 技術家庭科の技術分野の教科用図書についてご説明させていただきます。  
東京書籍、教育図書、開隆堂の3社です。

まず、東京書籍です。1、学習指導要領の教科との目標とのかかわりでは、学習がまとまりご  
とに目標、初めの活動、まとめの活動の順に繰り返し学習することで、基礎的、基本的な知識、  
技術が習得できるように構成されています。そして、基礎技能をまとめて掲載することで常に作  
業内容を振り返り、確認することができるようになっています。また、技術と社会の環境とのか  
かわりについては、環境マークをつけ、結びつけて考えられるよう工夫されています。「技術の匠」  
という欄で、さまざまな職業で働く技術者の紹介を取り入れています。技術を適切に評価し、活  
用する能力と態度を育てるために、計画、活用のページを設けています。「生活に生かそう」とい  
欄で、生徒に考えさせる工夫をしています。内容では、各領域の初めに小学校の関連がある教科  
と内容が表示されていて、本文中にも関連のある部分が表示されています。基礎・基本の確実な  
定着と確かな学力を育成するためにページ横の「基礎技能」という見出しを設け、理解が深まる  
ように工夫されています。

3、資料では、基本的な技能に関する説明部分で、実際に生徒が作業をしている写真で表示  
することにより理解しやすくなっています。また、実習のこつをポイントとして表示し、円滑な  
作業ができるように工夫されています。巻末に防災手帳があるのも特徴の一つです。

4、表記・表現では、用語、漢字、記号の使用及び文章表現について難しい漢字には振り仮名  
があります。これは他の2社も同じです。難解な言葉には星印で注釈がつけられています。ペー  
ジの下に「ひとくちQ&A」があり、クイズ形式で用語に親しめる工夫がされています。文字は  
ユニバーサルデザインフォントを用いています。実習例の手順が見開きページを通して横の流れ  
で統一されており、流れを理解しやすく、爪見出しを設け検索性が強化されています。

5、総括では、各領域の最後の教科活用のページでワークシートの記入例があり、発表の際に

活用できるように工夫されています。また、学習のまとめでは、学習内容を説明して確認される項目があり、言語活動の充実を図る工夫がなされています。

越谷の子どもたちが学んでいく上で特に適切であると思われる点は、新しい材料と加工に関する技術の開発の中で、リデュース、リユース、リサイクルの3Rを取り上げ、身近なものとして取り上げている点が挙げられます。情報に関する技術では、インターネットを安全に利用するための情報モラルが大きく取り上げられています。

次に、教育図書です。1、学習指導要領の教科の目標とのかかわりでは、わかりやすい図や写真を使った実験や実習が掲載されています。実践的、体験的な活動を通して学習しやすいように工夫されていて、制作課題の手順と基礎技能のページを見開きページに配置することで、技能や知識の確認がしやすい工夫があります。技術と社会や環境とのかかわりについては、材料と加工ではリサイクルを、生物生成では食料自給率やフードマイレージを挙げ、環境を身近に感じさせながら保全を考えさせるような工夫がされています。技術を適切に評価し、活用する能力と態度を育てるために、「考えよう」、「調べてみよう」、「やってみよう」という項目を設け、生徒への働きかけの工夫がされています。

2、内容では、序章というガイダンスのページで小学校で学習した内容などを引き合いに出して、技術分野でこれから学習する内容に興味や意欲を高める工夫がされています。基礎・基本の確実な定着を図るために、確かな学力を育成されるために「基礎」、「技能」、「知識」という見出しをつけ、わかりやすくしてあります。

3、資料では、基本的な技能の説明部分では、大きな写真を用い作業段階を細かく分けて表示することにより、手順がわかりやすくなっています。また、工程の段階が明示されていて、完成までの道筋を理解しやすく、手順に沿って工具や技能に関する情報が記載され、各自の進行状況に応じて確認しやすくなっています。

4、表記・表現では、難解な言葉や説明を必要とする用語には、「注」という文字をつけ、欄外にわかりやすく説明してあります。文章表現に「何々しましょう」なども多く用いられ、意欲を向上させるような表現がされています。文字は、ユニバーサルデザインフォントが用いられています。作業手順のレイアウトは、横の流れでページごとに区切られていて、説明文の文字が大きく見やすくなっています。

5、総括では、自分の考えをまとめたり理由を問いかけるような「考えよう」、「調べよう」などの場面があり、発表や話し合いのきっかけをつくり、言語活動を充実させる工夫がなされています。

越谷の子どもたちが学んでいく上で特に適切であると思われる点は、地球温暖化の影響や生物育成の技術の将来を考えるために、コンプレックス、複合型植物工場が紹介され、未来の都市型農業を考える視点の参考になるかと思います。情報に関する技術では、セキュリティーについて

取り上げられています。

最後に開隆堂です。1、学習指導要領の教科の目標とのかかわりでは、作業の説明に図、イラスト、写真を多く掲載しています。写真は重要な部分が拡大表示されていて、わかりやすくなっています。技術と社会や環境とのかかわりについては、各分野ごとにまとめられたページがあり、環境に関する記述部分では、環境マークで意識が高まるよう工夫されています。技術を適切に評価、活用する能力と態度を育てるために、各内容の最後に社会、環境のかかわりを設けています。

2、内容では、巻頭のガイダンスという点で、小学校の図工や算数の技術分野の学習内容との違いが説明されています。どのような部分を生かし、発展させて学習していくかが明示してあります。基礎・基本の確実な定着を図り、確かな学力を育成するために、クエスチョンのマークをつけた項目では、基礎的な内容の理解を深めたり、応用したりするための小課題を設定しています。

3、資料では、写真では理解しにくい作業は、矢印や手順を示した番号のあるイラストを用いてわかりやすくなっています。身の回りにある製品や機器の構造などについてカット図や分解図を用いることで説明文を補う工夫をしています。

4、表記・表現では文末の表現で「何々しましょう」などの呼びかけも多く見られます。用語の解説には「参考」の欄を設け、図や写真などを用いて詳しく説明されています。ページ下には豆知識の項目を設け、工具の名称の由来などを細かく説明してあります。重要語句のフォントが明確で、認識しやすく、実習例の流れを矢印や番号で表示する工夫が見られます。

5、総括では学習のまとめりごとに内容を確認する振り返りがあり、記述して自分の考えをまとめることができるようになっています。また、学習のまとめでは、振り返った内容をもとに、グループや家族での話し合いを促して、言語活動の充実を図る工夫がなされています。

越谷の子どもたちが学んでいく上で特に適切であると思われる点は、情報に関する技術で、情報モラルと知的財産において人権や個人情報の保護を具体的に取り上げる点が挙げられます。

以上でございます。

**吉田教育長** ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それではまず、選定委員会としてどの教科書を推薦するか、ご報告をお願いします。

**大友選定副委員長** 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員14名全員が3種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。70点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、56点、6番、教育図書、48点、9番、開隆堂、68点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、68点の開隆堂、56点の東京書籍、48点の教育図書を推薦いたします。

**吉田教育長** 他にございますか。

荒木委員。

**荒木委員** 現在、開隆堂を採択して4年間使用しておりますが、選定委員会では各学校からの実績等の話題でどのようなことが挙がりましてでしょうか。

**金塚選定委員（北越谷小教頭）** 各学校からの報告書によると、市内14校の中学校が、現在使用している開隆堂が適正であると答えております。理由といたしましては、イラストや絵、写真、資料などが豊富で利用しやすい。レイアウトも工夫されて見やすいという話題が挙がりまして。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますでしょうか。

進藤委員。

**進藤委員** 適正でないと回答した中学校が1校ほどあったようでございますけれども、現場の先生方が現在使用していて使いづらいなどという意見はありましたでしょうか。

**金塚選定委員（北越谷小教頭）** 適正でないと答えた学校の理由としましては、全体的に写真やイラストが小さいというものがありません。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** 他になければ質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

今回の中学校の教科用図書の採択は、前回平成27年度採択時と同じ検定本から採択することになります。したがって、協議については、前回採択した教科用図書を使用してきてどうであったかということ踏まえてということになります。現在使用している技術の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** 適正と回答した理由として、見やすさとかわかりやすさが挙げられているかなというふうに思うのですが、見てみますと、作業の説明に図、イラスト、それから写真を多く掲載しております。重要な部分は拡大表示されているということです。また、身の回りにある製品とか機器の構造について、カット図や分解図を用いるなどの工夫も見られていて、生徒にとっては見やすくわかりやすい教科書になっているのではないかなというふうに思いました。

た。

1つ、47ページの例えば小物ふたつきラックという実習例が載っているのですが、材料のとり方とか非常にわかりやすく図に書いてあったりとか、若干写真が小さいとかというご意見もあったようですけれども、全体としてコンパクトでわかりやすいということで、現場のほうではそういった声が出ているのかなというふうに思いました。

私のほうからは以上です。

**吉田教育長** 今のご意見、あるいは別なことでもいいですけれども、他にございますでしょうか。

荒木委員。

**荒木委員** 野口委員さんのご意見に私も同感です。全体的に先ほど写真やイラストが小さいというお話がありましたけれども、その分資料が豊富であるという印象があります。また、意欲を持って取り組めるような課題が設定されていると思います。選定委員さんのご説明でもありましたけれども、学習内容を振り返りで確認したり、学習のまとめで話し合いなどの活動につなげる工夫がされていて、そういったことで言語活動の充実を図れる構成になっていると思います。

**吉田教育長** 他にございますか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** なければ、私からですけれども、開隆堂と教育図書は、東書よりも版型が小さい分、情報量は少なくなっておりますけれども、開隆堂については、情報を精選してポイントを絞ってコンパクトにまとめられており、その他バランスのよい構成にもなっているかなと思います。また、最近ネットの陰の部分の問題になっている中、実際にトラブルも起きており、本市でも情報モラル教育等の推進に努めておるところです。そんな中、ウイルス対策、あるいはフィルタリング、バックアップ、IDパスワード等認証システム、SNS、個人情報や知的財産権については、3社とも掲載しておりますけれども、ちなみに開隆堂では、例えば194ページを少しおあけいただければと思うのですが、194ページと195ページにフィルタリングや、あるいはネット依存について、さらに198ページから201ページでは人権や個人情報、知的財産権の保護について別に詳しく説明しております。こうしたところが特徴かなと思っております。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** 他になければ、その他の教科用図書についてご意見をお聞かせください。

堀川委員。

**堀川委員** 東京書籍さんは、写真や図が比較的大きくてわかりやすい内容となっております。資料ページが多く見やすいという意見もあったようです。また、ページの下に「ひとくちQ&A」がありまして、クイズ形式で用語に親しめる工夫がされていておもしろいなと思いました。パソコン用語などでも、私も知らなかった用語もたくさん載っていて大変参考になりました。

以上です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 先ほどの総括のところの説明の中にもありましたが、教育図書では「考えよう」、あと「調べよう」が設定され、発表や話し合いのきっかけをつくり、言語活動を充実させる工夫がされていると感じました。

以上です。

吉田教育長 他にございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 この他に何か協議したいこと、内容はございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより技術の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 冒頭にも申しあげましたけれども、採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 各委員は順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、荒木委員、それから堀川委員を指名いたします。

〔立会人立ち会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

発行者番号、発行者、評価の合計について、登録番号順に読み上げます。

なお、前回は5段階評価の合計を〇〇票としておりましたが、今後は〇〇点として点数で申し上げます。

なお、「票」を「点」というふうに読みかえたただけですので、5段階評価の合計であることに違いはないです。

それでは、申し上げます。

2番	東京書籍	25点
6番	教育図書	19点
9番	開隆堂出版	30点

以上のとおり中学校技術の教科用図書は、9番、開隆堂出版を採択することに決しました。

中学校家庭の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

**吉田教育長** 家庭の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

**金塚選定委員（北越谷小教頭）** 技術家庭の家庭分野の教科用図書についてご説明させていただきます。東京書籍、教育図書、開隆堂の3社です。

まず、東京書籍です。1、学習指導要領の教科の目標とのかかわりでは、見開き1ページ、または2ページで1時間の授業の目標と内容が構成されています。「やってみよう」、「考えてみよう」、「調べてみよう」、「話し合ってみよう」という言葉で生徒の主体的な活動から学習が始まるようになっていきます。家族とのかかわりを考えるロールプレイングや考えをまとめる欄を設け、さまざまな状況で考える工夫がされています。生活の課題と実践が巻末にまとめてあり、学習の進め方、課題の決め方、まとめ方が数種の実践例とともに示されています。

2、内容では、初めに「中学校家庭分野の学習内容を見てみよう」という欄で、小学校の家庭科と学習内容が並べて表示されています。中学校の内容に関しては意欲が湧くように、小学校は既習の確認となる表記となっています。まとめページでは、問題形式での確認ができ、関連ページの表記があるので、各自で振り返りやすくなっています。調理実習、調理例については、1食分の組み合わせが多く、実践的で一品料理の種類も多く、幼児のおやつ用のメニューは幅広いです。衣服の品質表示は一覧で表示され、アイロンについては基礎技能のページにあります。

3、資料では、学習内容と関連する各ページの資料や図は、本文に白抜きの文字で書かれています。目ばかり、手ばかり、幼児の靴など、実物大の写真が掲載され、実感を持って理解できるようになっています。欄外にその内容と関連する「ひとくちQ&A」が記載されています。

4、表記・表現では内容によって爪見出しで色分けされていて、さらに基礎のページ、技能ページ、実習ページなど、資料を参照するときに見つけやすくなっています。重要語句はゴシック太字で表記され、キャラクターが案内役になっています。マークを使い環境、消費者、伝統、防災と関連づけて学習を進められるようになっており、安全面、衛生面に配慮するためのマークもあります。

5、総括では、課題と実践の発表方法として、コンピューターでプレゼンテーションソフトを使って発表する事例が記載され、コンピューターやインターネットを活用した学習については、マークが示されています。地域の食文化を知るために日本各地の郷土料理や幼児食の写真を掲載

しています。

次に、教育図書です。1、学習指導要領の教科の目標とのかかわりでは、見開き1ページ、または2ページで1時間の授業内容で構成されています。学習の目標が項目の初めに記載され、授業の導入に当たる部分はクエスチョンとなっていて、実物大写真、絵や漫画などを用いて興味を持って考えるなど、主体的な活動で始められるようになっていきます。家族とのかかわりを考えるために、ロールプレイングで事例を話し合うようになっており、ロールプレイングの進め方も詳しく記載されています。また、手紙や手づくり品、電子メールなどのコミュニケーションツールにも触れています。各内容ごとに生活の課題と実践の例が2例ずつ記載されています。

2、内容では、調理実習の例として、小学校の復習という形で、ゆで卵と鍋での炊飯が記載されています。各章の見開き左端にはキーワードチェックがあり、授業ごとに内容を振り返ることができるようになっていきます。また、内容ごとに問題形式で学習の確認ができるようになっていきます。調理実習では主食、主菜等に分かれているので、組み合わせを工夫することができます。小学校の復習も取り入れられています。衣服の品質表示は、J I S、I S Oの表示が一覧になっていて、説明の記載が多く、アイロンの表示については、アイロンを取り扱ったページにも記載されていて、関連づけて実生活で活用できるようになっています。

3、資料では、学習内容と関連する各ページの資料や図について、本文に白抜きの文字で書かれています。コラム、参考資料が各ページ両脇に色分けして表示されています。

4、表記・表現では、内容によって色分けされていて、目次に実習、発展、選択というマークでの記載があります。重要語句はゴシック太字で表記され、キャラクターが案内役になっています。マークを使い、環境、消費者、伝統、防災と関連づけて学習を進められるようになっており、安全面、衛生面に配慮するためのマークもあります。

5、総括では、課題と実践の発表方法として、コンピューターを使用したデジタル作品としてまとめる方法が記載されています。技術分野とのリンクが促され、関連づけて指導しやすくなっています。内容A、「家族、家庭と子どもの成長の課題と実践」の例として、「住みやすいまちってどんなまち」、「地域でボランティア活動をしよう」という内容が示され、地域に密着した指導ができるようになっています。

最後に開隆堂です。1、学習指導要領の教科の目標とのかかわりでは、見開き1ページ、または2ページで1時間の授業内容になっております。導入では、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」と表記され、考えを深められるような絵や写真が掲載され、生徒の主体的な活動で学習を始められるようになっていきます。家族とのかかわりを考えるために、グラフやインタビューなどの参考資料があります。ロールプレイングで事例を話し合う活動が紹介されています。生活の課題と実践が巻末にまとめてあり、内容ごとに5から6の事例が掲載されています。

2、内容では、ガイダンスのページで3年間の学習の目標、見通しが持てるような設定となっ

ています。内容のまとめは、アンケート形式や「生活に生かそう」という書き込みスペースがあり、まとめやすくなっています。調理実習の例は、1食分の組み合わせが多く実践的です。また、副菜が多く献立づくりなどで調整でき、工夫がしやすくなっています。おやつが幼児の視点だけでなく、大人にも合うような調理例になっています。「災害時の食事」というページもありました。衣服の品質表示は、JIS、ISOの表記が一覧で横に並び比較でき、アイロン実技説明のページにも記載されています。

3、資料では、コラム、参考資料が左側に配置されていて、関連する内容のページが「リンク」と記載されて見やすくなっています。

4、表記・表現では、内容によって色分けされ、学習内容に関連した豆知識や小課題がまとめられています。ページの右上には関連するものの写真があり、中学生の男女のイラストがそのページの導入やまとめ、確認事項を語る形になっています。マークを使い、環境、消費者、伝統、防災と関連づけて学習を進められるようになっており、安全面、衛生面に配慮するためのマークもあります。

5、総括では、生活の課題と実践の章の最後に、考えたり判断したり表現する力を身につけようという視点で、言語活動の充実についてまとめられています。学習でお世話になった方への手紙の書き方が紹介され、調査、分析、整理、手紙などでの記述について書き込み式で活用できるようになっています。

各内容の最後に「持続可能な社会をつくる」という項目でまとめた見開きページがあります。以上でございます。

**吉田教育長** ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それではまず、選定委員会としてどの教科書を推薦するか、ご説明をお願いします。

**大友選定副委員長** 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員14名全員が3種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。70点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、54点、6番、教育図書、50点、9番、開隆堂、70点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、70点の開隆堂、54点の東京書籍、50点の教育図書を推薦いたします。

**吉田教育長** 他にございますか。

進藤委員。

**進藤委員** 現在、開隆堂を採択して4年間実際に使っているわけですが、選定委員会では各学校からの実績等の話題でどのようなことが上がってきましたでしょうか。

**金塚選定委員（北越谷小教頭）** 各学校からの報告書によると、市内15校全ての中学校が、現在使用している開隆堂が適正であると答えております。理由といたしましては、図や写真、イラストが見やすく、レイアウトが工夫されており使いやすいというものがありませんでした。また、小学校での学習との系統性が明記されているというところを評価する意見もございました。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますでしょうか。

荒木委員。

**荒木委員** 現場の先生方が現在使用していて、使いづらさなどの意見はありましたでしょうか。

**金塚選定委員（北越谷小教頭）** 特にございませんでした。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** 他になければ質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

現在使用している家庭の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

堀川委員。

**堀川委員** 適正と回答した理由として、見やすさ、わかりやすさを挙げている学校が多いようです。

カラー写真が多く、興味関心を引き出しやすい写真やグラフなどの資料が内容に適していて、利用しやすいなどの意見もあったようです。わかりやすい教科書を使うことで、調理実習などの場面においても生徒がわかりやすく、教師も指導しやすいものになっているのではないかと思います。調理実習の場面ではまるで料理本のように、とても見やすくわかりやすかったです。

以上です。

**吉田教育長** ただいまのご意見に関連してでもいいですし、その他でもいいですが、何かございますでしょうか。

進藤委員。

**進藤委員** やはりバランスが大変よく構成されていて、課題から問題解決まで授業の流れを考えた教科書になっていると思います。単元の初めでは学習の目標を明記してあって、学習のまとめなどで振り返り欄が設けられていて、そこで学習をみずからまとめたり、あるいは自己評価をしたり反省したりということもできて、ある意味、達成感が得られるのではないかなというふうに感じました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** 2人の委員さんからも意見ありましたけれども、私もバランスよく写真とかグラフが配置されていていいのではないかなというふうに思いました。若干小さいのかなというふうには思うのですけれども、現場では、コンパクトでその辺が扱いやすいというような意見が根強いのかなというふうに思いました。

それと、先ほど小学校との関連もというお話ありましたけれども、中学生に必要な栄養とか内容のところでは、消化吸収とか小学校とか中学校でも習う理科なんかとの関連も結構はっきり出ているので、横断的に学習できるという点でもいいのかなというふうに思いました。

私からは以上です。

**吉田教育長** 私のほうから、別な観点からですけれども、少し教科書、せっかくここに置いてありますので、教科書を見ていただきたいのですけれども、他の会社でも巻末等で持続可能な社会、これについて取り上げているのですけれども、開隆堂では、目次のところを見てもらえばわかると思うのですが、左側のちょうど54ページのところに「持続可能な社会をつくる」、それから、「食生活と自立」のところでも136ページに「持続可能な社会をつくる」。「住生活と自立」のところですが、これについて164ページ、「持続可能な社会をつくる」。せっかくですので、54ページを少し開いてもらおうと、「世界を超えた人々と交流して」と、こういうふうな持続可能な社会について取り上げて、特別コーナーを設けて取り上げております。世界中のさまざまな資料を提示して、人や環境とのかかわりを考えたり話し合ったりすることができるよう構成しております。こうしたことについては、現場からの報告書にも見られますけれども、社会の中での動きへの対応、あるいは構成や内容の充実、現状に合った内容、こういう評価にもつながっているように思います。これも一つの特徴かなというふうに思っております。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** 他に協議したい内容、ございますでしょうか。こちらもよろしいですか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** 他にないようですので、開隆堂以外についての教科用図書についてのご意見を願いたします。

渡辺委員。

**渡辺委員** 東京書籍についてなのですけれども、他の2者に比べますとサイズが大きく、写真や図も大きく見やすい教科書になっていると思います。また、導入部分なのですけれども、これからこの家庭科で扱う学習に関しての質問がありまして、それに対して生徒が記入式で答える形にな

っており、導入をスムーズに進めることができると思います。

また、各章の「やってみよう」、「考えよう」というところでは、生徒の主体的な活動を引き出すような促しができていると思います。

以上でございます。

**吉田教育長** 関連して、また他にありましたら。

荒木委員。

**荒木委員** 教育図書ではイラストの写真も多く、わかりやすい教科書になっていると感じました。

また、問いかけも多く、各内容ごとに問題形式で確認ができるようになっていることも学習内容の理解の定着に効果的であると思います。

**吉田教育長** 他にございますか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** 現在使用している教科書、その他の教科書について順次ご意見いただきましたが、この他に協議したいと内容がございますか。よろしいですか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** ないようですので、これより家庭の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

[選定委員退室]

**吉田教育長** 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

[投票用紙配付]

**吉田教育長** 次に、投票箱を改めさせます。

[投票箱点検]

**吉田教育長** それでは、各委員は順次投票をお願いいたします。

[順次投票]

**吉田教育長** 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、堀川委員、進藤委員を指名いたします。

[立会人立ち会の上開票]

**吉田教育長** 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

発行者番号、発行者、評価の合計点について、登録番号順に読み上げます。

2番 東京書籍 23点

6番 教育図書 22点

9番 開隆堂出版 30点

以上のとおり中学校家庭の教科用図書は、9番、開隆堂出版を採択することに決しました。

中学校美術の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

**吉田教育長** 美術の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

**伊藤選定委員（大沢北小校長）** それでは、美術科の教科書について説明させていただきます。

まず、開隆堂につきまして、観点1、学習指導要領の教科の目標とのかかわりでございますが、題材が系統的に幅広く配列され、学習の内容が偏りないような工夫がされていたり、題材の目標と発想を引き出すポイントが具体的に示され、主体的に学んだり創造活動の喜びが味わえるように工夫されています。各題材のページの最後に振り返りが示され、生徒がみずからの学習を評価したり確認したりすることができ、学習内容の確実な定着を図っています。鑑賞の視点が具体的に示され、生徒の自主的、自立的活動を促し、鑑賞の学習をより深められるように工夫されています。

観点2、内容についてですが、美術1においては、表現の広がりや写し取る形などの題材が取り上げられており、内容的に小学校の造形遊びとの関連が意識されております。その他の内容においても、描く、つくる、ともに小学校での学習内容を踏まえた題材設定がなされております。美術2、3では、初めに美術はいつも生活や暮らしの中であって、現在の生活との関連に触れ、巻末では生きることと美術、命、世代の継承責務のページで社会の課題、共生していくことについて意識を持たせるようにしております。

観点3の資料についてですが、生徒の多様な活動の様子やそのときの思いやつぶやきを紹介しております。緑の枠や画びょうの枠組みなどの中で、言葉がけや生徒の作品をたくさん提示することで生徒の発想を広げられるように工夫されております。表現のために必要な技法や知識が確実に習得できるように、それぞれの題材ページに基礎・基本的な資料が囲み枠で記載されております。鑑賞のきっかけとなる問いかけなど、マークや吹き出しもわかりやすく提示されております。「道具箱」、「パレットコーナー」、「色彩」、「ホームページ」などの項目を設け、制作活動に必要な知識や技法、安全についてまとめて系統的に示しております。

観点4の表記・表現についてですが、生徒がイメージを膨らませ、関心、意欲が高められるように豊かに表現の題材名とわかりやすい具体的な副題で表記されております。個々の作品の解説文として示された生徒の言葉は、作品理解に役立つように配置され、作品を掲載した意図が最後に記されております。

観点5の総括についてですが、振り返りが各学年、各題材の最後に設定されており、4つの観点から生徒自身が言語活動を充実させながら学びを確認できるように配慮されております。光で

空間を演出するなど、プロジェクションマッピングなどのデジタルカメラ、コンピューター等の I C 機器を用いた作品も掲載されております。

続きまして、光村でございますが、観点 1、学習指導要領の教科の目標とのかかわりでございますが、題材名とともに目標を表記し、生徒に身につけさせたい力が明確に示されており、生徒の自主的、自立的な活動を促すように工夫されております。また、目標の横にチェック欄が設けられており、生徒の自分の学習についての振り返りができ、到達度も確認できるようになっております。目標の下には、共通事項にかかわる声かけもあります。題材の内容に関連した作品を表示し、表現と鑑賞との関連を図っており、発想や構想の場面でイメージを膨らませたり、表現方法に着目させたりするような鑑賞の学習に取り組むことができます。鑑賞のページでは、作品と詩を掲載し、生徒の心に働きかけ、内面や本質を見据えてよさや美しさを捉え、鑑賞をより深められるよう工夫されております。

観点 2 の内容については、美術 1 の巻頭見開きページで「美術の始まり」から「図画工作」、そして「美術って何だろう」の流れが示されており、表現、鑑賞活動の段階的発展を説明しております。美術 2、3 の巻頭では、朝起きてから夜寝るまでの美術で身近な美術を意識させ、その巻の巻末では中学校美術最後の時間にて、今までの学習の振り返りを意識させるようにしております。

観点 3 の資料については、生徒が発想したり制作活動をする際のきっかけとなる言葉を吹き出しに提示し、作者の言葉を載せることで鑑賞のヒントになるように工夫されております。表現のために必要な技法や知識が確実に習得できるように題材ごとに作品と写真を改良し、さまざまな角度から作品を紹介しております。鑑賞のヒントとなるような問いかけや心情マークなどでわかりやすく提示されており、道徳のつながりも示されております。また、制作活動に必要な知識や技術、安全についてまとめて系統的に示されております。

観点 4 の表記・表現については、目標を発想、構想のヒント、道徳との関連、巻末資料へのリンクなど、マークを使って区分で表示されており、読みやすく学習しやすくなっております。タイトルのつけ方は、題材の内容がわかりやすいものになっており、題材ごとに身につけたい力を目標として示しております。各題材だけでなく、各作品にも解説があることが多く、題材を深く理解する助けとなっております。

観点 5 の総括については、振り返りが各学年の題材の目標とともに設定されており、4 つの観点から生徒自身が言語活動を充実させながら、学びの確認ができるように配慮されております。「カメラを活用しよう」、「映像メディアを活用する」、デジタルカメラやコンピューター等の I C T 機器を用いた作品も工夫して掲載されております。

最後に、日文ですが、観点 1、学習指導要領の教科の目標とのかかわりですが、題材の設定と配列は内容ごとに整備されており、生徒の学習のしやすさに配慮されているとともに、学習の内

観点が偏らないように工夫されております。題材名の横に4観点の学びのねらいを表記し、生徒が目標に向かい、主体的、創造的に学習することができるように工夫されております。鑑賞と表現との関連を考えて、鑑賞の学習を表現の題材ページに示しております。独立した鑑賞を適切に設けたり、浮世絵や水墨画を掲載したページの用紙に和紙を使って生徒の興味関心、意欲を高める工夫がなされております。

観点2の内容については、生徒と美術との出会いと発展を意識した構成になっており、美術1の巻頭では図画工作、そして美術へのページを設け、小学校との関連を意識させています。内容においても、描く、つくるとともに、小学校での学習内容を踏まえた題材設定がなされております。美術2、3、上では、身近材料をもとにした表現の可能性を、下のほうでは、夢を形にするデザインなどを巻のテーマにして、未来や社会とのつながりを意識されております。

観点3、資料については、生徒が発想したり制作活動をする際のきっかけとなる言葉がけをしております。フォントの囲みや生徒の活動の様子の下に説明を書いたりして発想のヒントとなるように工夫しております。表現のために必要な技法や知識が確実に習得できるよう題材ごとに作品の写真に対応し、つながりや段階をわかりやすく示しております。作家の作品を多く載せて作者の言葉をわかりやすく提示し、鑑賞のヒントとなるように工夫しております。また、技法の指導、色彩の資料を設け、制作活動に必要な知識や技法、安全についてをまとめて系統的に示されております。

観点4、表記・表現については、題材のイメージがつかみやすいタイトルと、それを深めるサブタイトルが工夫されております。生徒の作品にはアイデアスケッチや制作過程を紹介し、作家自身の言葉で発想や構想の過程、技能面の工夫が述べられており、表現や鑑賞の言語活動への働きかけに効果的な工夫がなされております。

観点5、総括についてですが、学びのねらいが各学年の題材の最初に設定され、4つの観点から生徒自身が言語活動を充実させながら学びを確認できるように配慮されております。また、題材のところどころでカメラやコンピューターを活用したり、巻末の技法や鑑賞の資料でのデジカメやコンピューター等のICT機器を用いた表現の仕方、写真の題材や光と影の空間演出でのいろいろな光と彩りの活用が取り上げられております。

以上、3者を説明してまいりましたが、調査委員会は開隆堂は授業の流れに沿った展開がなされている。表現と鑑賞をはっきりと区別せずに題材に関連づけていることから授業も展開しやすい、掲載されている作品や写真も大きく見やすい、生徒の作品の多くに作者の言葉が添えられているため、共感を持って制作活動に入ることができることが挙げられておりました。

光村は、表現と鑑賞をはっきりと分けた構成になっております。材料や図案等が広く掲載されており、発想や構想を練るための資料集として効果的であります。

日文は、絵画、彫刻、デザイン、工芸の分野において表現と鑑賞のページを独立して構成して

おり、生徒目線での発想の仕方、手順や技法を適宜紹介しており、創作活動のきっかけとして活用しやすいという意見が出ておりました。

以上、美術の説明を終わらせていただきます。

**吉田教育長** ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それではまず、選定委員会としてどの教科書を推薦するか、ご説明をお願いします。

**大友選定副委員長** 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員15名全員が3種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、9番、開隆堂、71点、38番、光村図書、61点、116番、日本文教出版、56点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、71点の開隆堂、61点の光村図書、56点の日本文教出版を推薦いたします。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますか。

進藤委員。

**進藤委員** 現在、開隆堂を採択して4年間実際に使用しているわけでございますけれども、選定委員会では各学校からの実績等の話題でどのようなことが話題として出ましたでしょうか。

**伊藤選定委員（大沢北小校長）** 各学校からの報告書によると、市内10校の中学校が、現在使用している開隆堂が適正であると答えております。理由といたしましては、資料が適切で作家の作品だけでなく生徒作品等が多く掲載されていることが挙げられておりました。生徒にとって芸術家の作品だけでなく、同じ中学生の作品を参考にすることができるのは、興味関心を高めることにつながります。また、学年にふさわしい鑑賞のページも設定されております。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますか。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** そのこの現場の先生方が現在使用していて、使いづらいとかというそういう意見はございましたでしょうか。適正でないと言ったのが5校あるという話なのですけれども。

**伊藤選定委員（大沢北小校長）** 適正でない理由として共通するのは、教科書が薄く内容が少ないと感じているということでありました。名画名作、制作手順など、不足を感じている部分があり、

学校の実情に応じて資料集等も購入し、資料としている学校もありますが、現在の教科書でも支障が出るものではないと考えております。

**吉田教育長** よろしいですか。

〔発言する者なし〕

**吉田教育長** なければ協議を行います。

現在使用している美術の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

堀川委員。

**堀川委員** 適正と答えた理由の中で多かったのは、質の高い作品が掲載されており、芸術家の作品だけでなく生徒の作品もあり、生徒の興味関心を高めるのに有効であるというものでした。本当にたくさんの作品が掲載されていて、とてもぜひいたくだなというふうに感じました。

また、先ほどの回答にもありましたけれども、中学生の作品という身近なものを参考にするこ  
とで、生徒も大変刺激を受け、主体的な学びを知ることが予想され、適切ではないかと思いま  
した。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

**渡辺委員** 美術1につきましては、先ほど選定委員さんからのお話にもありましたように、小学校との関連があって、教科名が「図画工作」から「美術」に変わっても生徒さんたちは違和感なく入っていけるのかなというふうに感じております。

また、美術2、3につきましては、表紙裏のところに「人と違うこと」、「他人と同じであること」ということで、少し意見が述べられているのですけれども、やはりともすると美術というのは、個性の尊重といいますか、個性を出すことがいいことだというふうに思われるかと思うのですけれども、こういうコンセプトで書かれているということがわかりまして、なかなかおもしろいなというふうに思いました。

また、現在の生活と関連したことに触れて、例えば日本の伝統工芸のことですとか、あともっと身近な暮らしの中で使うようなものについてのデザインのことなどが取り上げられていて、大変興味深いと思いました。

以上でございます。

**吉田教育長** 他に、あるいは関連して何かございますでしょうか。

進藤委員。

**進藤委員** どの授業も先生方に事前の準備というのは必要なことだと思いますけれども、とりわけ美術の時間というのは、あらかじめ準備するものであったりとか、作品をつくる手順をしっかりと先生自体が把握していないとできないので、先生が事前に教材をしっかりと見たり準備したりする

時間がかかり必要になってくるのではないかなというふうに思います。その点でもやはり使いなれているということは、先生の負担を多少でも減らすということを考えても大きいのかなと思います。

以上です。

**吉田教育長** 関連して、あるいは他にございますでしょうか。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** 先ほどから生徒の作品が結構開隆堂は出ているという話がありましたけれども、私も美術2、3の例えば12、13ページあたりから「道」ということで、我々世代、親しみやすい絵画かなと思うのですけれども、12、13、それから14、15となってくると、今度は子どもたち、生徒の作品も載せてきて、そして16、17あたりでも同じように、遠近法というのですか、1点に道がずっと続いていく様子なんかが一貫して載っているということで、この書き方はこうやって書いたほうがいいかなということもよくわかるかなというふうに思いました。身近な風景を切り取って見せていくとかというよさもあるのかなというふうに思いました。また、子供も親しみを持てるのかなというふうに感じました。

それから、人物となると、24、25、26、27あたりの生徒の作品がやはりたくさん載っていて、大変子どもたちの参考になる教科書なのかなというふうに思いました。ありがとうございます。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** なければ、他の教科書会社のほうに入ってしまうのですけれども、少し同じものを扱っているところを見比べるとわかりやすいかなと思ったのですが、なかなか見つけるのが困難で、例えば美術1の開隆堂の28ページと光村の52ページ、これ見ると若干微妙に違いますか。これが子どもの目線に立って見通しを立てやすい構成となっているのか、あるいは発想のきっかけとなる手だてはどうなのか。あるいは見た目でのわかりやすさというのはどうなのか。こういうところで見てみると微妙な違いが出てくるかなと思うのです。この点で報告書はどう評価しているのかななどを参考にしてみたい必要があるのかなというふうに思います。

また、作品づくりの進め方のポイントとか、資料の充実の度合いなんかですけれども、開隆堂で言えば、今みたいなどころからどういうふうな観点で報告書が評価をしているかというところを見ていくというふうに考えるのですけれども、少し見てみましたら、現在使用している教科用図書については、何を学習するのかわかりやすい、あるいは生徒の興味関心を高めるような工夫がある、あるいは全体的に利用しやすいといった評価が見られたというふうに思います。こうしたところは、そういう微妙な違いが評価されているところなのかなというふうに考えております。

他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他になければ、その他の教科用図書についてご意見をお願いいたします。

荒木委員。

荒木委員 その他ということで、光村図書が斬新な資料である一方、伝統文化も重視していると思います。原寸の画像や多くの技法が提示されていて、参考作品の掲載も充実しています。美術の感性や想像力を養うといった観点からも参考となる豊富な資料があるなという印象も持ちました。

吉田教育長 ただいまの意見に関連して、あるいはその他でも構いませんが。

野口委員。

野口教育長職務代理者 その他の話になりますけれども、日本文教出版、こちらでは日本が誇るべき作品が多いのですけれども、「富嶽三十六景」と、こういう和紙で大きく取り上げているところがあるのですけれども、この非常にサイズが大きいものですから、これは迫力あるなというふうに思いました。他の会社でも取り上げているところはあるのですけれども、これはすごくインパクトあるなということで、大変工夫されているなというふうに私は思いました。

以上です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 この他に協議したい内容はございますか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 他にないようですので、これより美術の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、荒木委員、それから渡辺委員を指名いたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

発行者番号、発行者、評価の合計点について、登録番号順に読み上げます。

9番	開隆堂出版	30点
38番	光村図書	25点
116番	日本文教出版	20点

以上のとおり中学校美術の教科用図書は、9番、開隆堂出版を採択することに決しました。

小学校図画工作の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

[選定委員入室]

吉田教育長 図画工作の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

伊藤選定委員（大沢北小校長） 初めに、開隆堂につきまして説明いたします。

観点1、内容ですが、(1)、知識、技能の習得のための工夫としまして、各題材の冒頭に学習のめあてが配置されており、それぞれの目標に対応したキャラクターを使用して学習のヒントを投げかけております。3つの目標のうち題材ごとに主となるめあてに下線を引いてわかりやすくしています。知識、技能に対応したキャラクターくふうさんが、各ページの学習のめあてに即したアドバイスをしています。児童の活動の写真とともにつぶやかれている言葉は、まねしてやってみたいと感じられる表現になっております。また、巻末には充実した資料のページ、「造形の引き出し」があり、学年に応じた用具、材料の知識や使い方が丁寧に示されております。

(2)、思考力、判断力、表現力等を育成するために題材ごとの発想、構想の力が働いている場面、写真やせりふですが、多数掲載し、児童が題材の狙いに沿って構想を練ることができるように工夫されております。思考力、判断力、表現力に対応したキャラクターひらめきさんが、各ページで学習のめあてに即した具体的なアドバイスを述べています。巻末には発想を広げるためのページが設けられております。

(3)、学びに向かう力、人間性等を涵養するために各題材の最後に振り返りが設定され、題材を通してついた力の自己評価ができる工夫がされております。各題材にQRコードが掲載されており、クイズで用具の使い方を学ぶコンテンツも用意されております。学びに向かう力、人間性等に対応したキャラクターころろさんが、児童が心を開いて楽しく活動し、友達とかかわり協力することができるように導きながら学習が深まる工夫がされております。

(4)に関する資質能力を高める学習を充実するために、共同で取り組む活動や他者を想定した活動が多く提案されております。活動の写真の中に話し合いの場面を多く取り入れることで児童がコミュニケーションを図りやすくなっております。また、話し合いの仕方も示されております。巻末に「みんなのギャラリー」があり、美術館や地域に密着した行事や伝統工芸などの身近な作品と出会うことができます。

(5) に関しては、題材ごとに緑の囲み枠の中に安全な用具の扱い方について、写真やイラストとあわせて説明しております。また、片づけ方についても例示されております。巻末の学びの資料のページでは、用具の安全な使い方を具体的に提示し、気をつける工夫がされております。

観点2の資料では、題材名の工夫、児童の目線に立った題材名で活動の楽しさが表れています。作品の写真が大きく、細かい部分の表現も見やすくなっております。完成作品だけでなく、発想、構想の力が発揮されている場面の写真が多く取り入れられております。また、各題材にQRコードが掲載され、インターネットと連携することで用具の安全な使い方やつくり方などの動画、教科書に掲載されている作品以外の参考作品を見ることができるようになっており、学習効果を高める工夫がされております。

観点3、表記・表現では、題材名は児童の心に響くように発達段階に応じて設定し、児童が主体的に学習できるように、リード文は簡潔でイメージがしやすいように表記されております。また、「何々しよう」という誘いかける文体や「何々かな」という問いかける文体を多く用いるなどの工夫が見られます。カラーユニバーサルデザインについては、誰もが識別しやすい色の組み合わせ、色に頼らなくても理解できる工夫がなされております。読み取りやすい書体の使用、発達段階に合わせた文字の大きさなどです。さらに、意味のまとまりごとに改行することで文章の意味が誰でも捉えやすくなるという工夫もされております。

観点4、総括ですが、各学年の発達に合わせたつながりが働いております。また、地域の行事や伝統工芸及び各美術館の活用についても取り上げております。教科横断的な連携としては、低学年における生活科、総合的な学習及び社会科や特別活動との関連を意識した内容が設定されております。

続きまして、日文の説明をいたします。観点1、内容についてですが、(1)については、各題材の初めに3つのめあてを親しみやすいマークとあわせて設定しております。また、キャラクター、ちろたんが造形的な見方、考え方に基づいてヒントを伝えたり、児童の発見を認めたりする言葉がけをしております。知識、技能の習得のために、巻末に「使ってみよう材料と用具」のページがあり、6年間を見通した構成になっております。また、手や体を動かして発想を広げる「ひらめきポケット」がテーマを変えて各学年に掲載されていて、色や形においてわくわくさせ、やってみたいと感じさせるような内容になっております。

(2)については、児童が手や体を実際に動かして発想を広げられるような「ひらめきポケット」のページが設けられております。また、児童が造形的な見方、考え方を深められるように児童の活動の様子や作品、身近なものや美術作品など、生活や社会の中にあるさまざまな図柄が掲載されております。

(3)については、各題材の初めに双葉のマークを用いて、活動の中で楽しく取り組むことを学習のめあてとして示しております。題材の終わりには、黄色い印が追加された双葉のマークで、

学びをその後の生活や社会に生かしてほしいことを例示しております。

(4)については、友達の活動や作品を見合ったり、話し合ったりしている写真や吹き出しを多く掲載し、鑑賞や対話的な学びを促しております。キャラクターちろたんが、色や形、いわゆる共通事項を広げる言葉がけを行っております。鑑賞教材に関しては、巻頭の教科書美術館で対話しながら鑑賞することを促し、さまざまなものを造形的な視点で見ることができるよう工夫しています。

(5)については、用具を安全に取り扱うことができるように黄色の囲み枠に「気をつけよう」という安全の取り扱い方や注意点について細かく説明しています。また、巻末の「使ってみよう材料と用具」のページでは、発達段階に即した安全で基礎的な取り扱いについて、写真やイラストで説明しています。

観点2、資料では、楽しい題材名とリード文が活動の意欲を高めています。授業の活動の様子や児童の作品を掲載することで身近な作品になっております。作者のコメントの紹介により作り手の思いを深く知ることができる「教科書美術館」は、教科書の巻頭に見開きページで構成され、興味関心が高まる工夫がされております。また、道徳の関連が深い教材については、フクロウのマークで示されております。各学年5から13個の題材にマークがついております。

観点3、表記・表現についてですが、各題材とも意欲が高まる題材名とリード文が用いられております。児童の思いと表現活動の例が写真と吹き出しで紹介されることで、児童の活動意欲が高まるものと思われま。

(2)のカラーユニバーサルデザインでは、コントラストや文字の背景色が考慮されています。また、どの題材も見開きで掲載されることで、一つの題材に集中しやすい配慮がなされております。題材名、めあて、気をつけることなどは、どの題材も同じ位置に設定されていて、統一感があります。

最後に、観点4、総括ですが、題材は5つの分野で構成され、学びを発達段階とともに深められるようになり、系統的に配列されています。地域文化や伝統工芸及び文化に特設ページなどが設けられております。他教科との関連では、教科横断的な視点を持ちながら、特に主要4教科にかかわる題材や低学年における生活科とのかかわり、特別活動や総合的な学習との関連事例も掲載されております。また、中学校との接続ページが設けられるとともに、美術科や技術科との関連も図られております。

以上で図画工作の説明を終わらせていただきます。

**吉田教育長** ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それではまず初めに、選定委員会としてどの教科書を推薦するか、ご説明

をお願いします。

**大友選定副委員長** 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員16名全員が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。80点が満点となります。

その結果でございますが、9番、開隆堂、77点、116番、日本文教出版、67点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、77点の開隆堂、67点の日本文教出版を推薦いたします。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますか。

堀川委員。

**堀川委員** 選定委員会ではどのような話題が出ましたでしょうか。

**伊藤選定委員（大沢北小校長）** 選定委員会では、主に2点話題となりました。

1点目はQRコードについてです。日文は、各学年教科書に1つ、3、4年上では3つのデジタルコンテンツが準備されております。これは、子どもたちの活動への意欲を高め、発想を広げるきっかけづくりになっております。開隆堂は、各題材にQRコードが掲載されており、子どもたちが自分で使えるようになっております。目的は日文と同じであります。

2点目は、主体的、対話的で深い学びについてです。開隆堂は、学習指導要領における児童に育成したい資質や能力を学習の中心的な3つの目標として児童にわかりやすく整理し、それを象徴する楽しいキャラクターとして示して、主体的、対話的で深い学びへ児童を導くように工夫されております。

日文は、子どもたちが資質能力を発揮している写真と作品で構成されており、自然に対話が生まれ、能動的な鑑賞につながるような工夫をしております。

以上でございます。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますでしょうか。

荒木委員。

**荒木委員** QRコードについてももう少し教えていただけますでしょうか。

**伊藤選定委員（大沢北小校長）** QRコードを例えばアイパッドで読み込めば教室で使うことも可能ですが、図工本来の狙いからそれないことが重要と考えます。また、スマホ等を持っている子どもは、家で見えるかもしれませんが、QRコードがあるかないか、どのくらい掲載されているかは、授業に大きく影響することはそれほどないのではないかと考えております。

**吉田教育長** ただいまのQRコードに関連して、また別なご質問ございませんか。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それでは、時代の流れだと思うのですが、今回検定を通過した教科書には、話題になっているQRコード、大変多く掲載されているなど。図工に限らずですけれども。このことについては、事務局のほうで、どういうお考えなのか聞かせていただければと思うのですが。

**吉田教育長** それでは、他の種目にも関連することですので、事務局の説明を求めます。  
指導課長。

**山口指導課長** 平成29年5月23日付で発行されております教科用図書検定調査審議会の報告書によりますと、QRコードが参照させる情報自体は、教科書そのものではなく、あくまでも学習上の参考情報として供するものであると示されております。

以上でございます。

**吉田教育長** ただいまの説明でよろしいですか。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** もう少し詳しく言っていただけると。

**吉田教育長** 指導課長。

**山口指導課長** この報告書、検定の基準等を定めているものの報告書なのですが、その中でQRコードの検定基準について、いろいろと協議されていたようです。その中で、結論としては、教科書ではない。いわゆるどの教科でも使うと思うのですが、教材として扱うべきではないかというようなことが書かれていたと事務局としては捉えております。

**吉田教育長** 少し事務局の立場としては言いづらいことだと思いますので、私のほうから、今の説明にあったように、その内容自体は教科書の採択を左右するものではないというふうに捉えております。よろしいですか。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

**渡辺委員** 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったでしょうか。また、その主な理由について教えてください。

**伊藤選定委員（大沢北小校長）** 学校からの推薦では開隆堂が27票、日文が17票という結果でした。

主な推薦理由といたしましては、開隆堂は載っている作品に工夫があり、作りたくなるようになっている。材料や作り方のポイントもわかりやすい、いろいろな用具の技法、題材を取り上げている。用具の使い方や注意がわかりやすいなどの意見がありました。

日文では、参考になる作品が多く示されており、子どもの活動する写真で作品をつくる過程がイメージしやすい、やり方の手本になる等の意見がございました。

**吉田教育長** 他にございますか。

〔発言する者なし〕

**吉田教育長** 他になければ質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

小学校教科用図書については、冒頭指導課長から説明がありましたが、今回10年ごとに改訂される文部科学省が定める教育課程の基準、学習指導要領が改訂されたことを受けて教科用図書を変更されたことによる採択ということになります。ですので、選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容、学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて、ご意見がありましたらお願いします。

進藤委員。

**進藤委員** どちらの教科書も掲載作品が多い上に、いろいろな用具であるとか材料であるとか技法を取り上げていて、子どもたちが豊かな発想で楽しんで創作活動に取り組むような工夫がされていると思いました。実際に掲載されているような作品も、こちらが見ているだけで楽しくなるようなものが多くて、来場者用のアンケートを拝見していても、やはり同様の意見を感じている方が多いのかなというふうに思いました。

**吉田教育長** ただいまのことに関連してでもいいですが、何かございますでしょうか。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それでは、もし間違っていたらご指摘いただきたいのですが、比べてみると、日文さんのほうがやや手順など、何かそういうつくる過程については、重きが置かれていのかなというふうに思いました。それから、開隆堂さんのほうは、発想とかそちらのほうについて、子どもたちに投げかける部分が前面に出ているのかなというふうに思いました。図工もなかなか教科書をずっと見ながら作業をする活動はないと思うので、そのあたりが現場でどうされたのかなということで、先ほどの推薦図書、推薦のほうの順番に反映されたのかなというふうには思いました。

あと、この教科書のネーミングなんかも、やはり開隆堂のほうが、「みつけたよ」とか、図画工作だと、小さなことですが、細かいところですが、図画工作というのを前面に出すのではなくて、教科書の表紙の題名なんかも楽しみが持てるような形では工夫されているのかなというふうには感じたのですけれども。

以上です。

**吉田教育長** 荒木委員。

**荒木委員** 今、野口委員さんお話にもありましたように、開隆堂には教科書自体の名前も1冊ずつ違っておもしろいと思いました。また、例えば教科書自体が名前もそうなのですけれども、資料についての題材名がいろいろおもしろいなと思ひまして、例えば1、2の下で粘土を扱っている

のですけれども、題名が「こんにちは、むぎゅたん」となっていたりとか、5、6の上、ローラーを使うので「進めローラー大ぼうけん」とか、そういったおもしろいものがあるなと思いました。そういったものは、子どもたちの発想の大きなヒントになるのではと思いました。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

進藤委員。

**進藤委員** もしかしたらこれは少し次の資料のところとも絡んでくるかもしれませんが、図画工作の授業というのは、みずからの表現活動と、あとは人の作品の鑑賞活動の柱となってくるのだらうと思うのですけれども、その中でもやはりみずからが道具や材料を使って造形活動を行うということが大変大きな時間を占めてくるということは、明白なことだと思います。もちろん活動の前提としては、道具や材料を適正に取り扱うということが大変重要なことになるのですけれども、この点につきまして、開隆堂は巻末の「情景の引き出し」というところで、写真やイラストを用いて安全な用具の使い方を掲載するとともに、各題材ページにおいて配慮すべき内容を囲みを設けて具体的に示していました。

また、これに対して日文は、やはり巻末に「使ってみよう材料と用具」のページを設けて、発達段階に即した材料や用具の基礎的で安全な取り扱いを、やはり同じように写真とイラストを用いて具体的に示すほか、題材ごとのページにおいても「気をつけよう」という黄色の囲みの中で細かい説明を加えています。

いずれの教科書も学習活動の大前提となる安全な授業を実現するために工夫がされているなど感じました。また、これらの詳細な説明であるとか資料というのは、表現するための知識や技能を習得することにもつながっているなと思いました。

あともう一つ、私になるほどなと思ったのは、開隆堂さんに関しましては、冒頭のところに「片づけも図画工作の授業の中身である」というふうなことが明記されておりまして、特に配慮を必要とする片づけに関しては、その用具ごとに注意を喚起するようなことが囲んで書いてありました。これに対して日文さんは、そういった授業の一環だよというふうなことを冒頭にうたうことはしなかったのですけれども、単元の末尾に必ず片づけに関してコラムを設けてありまして、やはり気をつけるべきことを記載していることが非常に印象に残りました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

観点ごとに区切ると言いづらいということがあるようですので、若干上下してもいいのかなと思っ

ているのですが、なければ次の観点で、また観点1について他にもあるかと思うのですけれども、一応調査の観点2に行きます。進めていきたいと思

資料についてご意見ございますでしょうか。



うな印象を持ちました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

先ほどの中学校の美術のところでもお話ししたのですけれども、同じものを扱っているところと見比べてみたのですが、図画工作の5、6の下のほうですが、2つの会社を両方並べてみると、14ページとそれから22ページ、ネーミングは「きらめき劇場」と「光の形」というので、違ってはいますが、同じようなものを扱っているのかなというふうに思います。これで見通しの立てやすさ、あるいは発想のきっかけになるようなこと、それからわかりやすさですか、あるいは子どもの思考に沿ってどっちがいいのか、こういうようなところを同時に報告書ではどういうふうに見ているのかみたいなのところを見ていく必要があるのかなと思いました。

それと、開隆堂のほうでは50ページから57ページに、道具の使い方等について、制作の仕方等について、疑問について詳しく載せているのですけれども、見ていると彫刻刀を手前に引いてしまうような子どももいるようですから、こういうのは重要なと思うのですけれども、同時に日文でも、この辺については56ページあたりからのせてあるわけですけれども、これについても先ほどと同様のことが言えるのかなというふうに思っています。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

**吉田教育長** ないようですので、これより図画工作の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

**吉田教育長** 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

**吉田教育長** 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

**吉田教育長** それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

**吉田教育長** 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、野口委員、それから堀川委員を指名いたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

**吉田教育長** 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

発行者番号、発行者、評価の合計点について、登録番号順に読み上げます。

9番 開隆堂出版 30点

116番 日本文教出版 25点

以上のとおり小学校図画工作の教科用図書は、9番、開隆堂出版を採択することに決しました。

小学校家庭の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

**吉田教育長** 家庭の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

**金塚選定委員（北越谷小教頭）** 小学校家庭の教科用図書についてご説明させていただきます。東京書籍、開隆堂の2社です。

まず、東京書籍です。1、内容では、基礎的、基本的な知識、技能を身につけられるよう、困ったときいつでも開くことのできる「いつも確かめよう」の巻末資料が掲載されています。調理や制作の実寸大写真の掲載があり、身につけたい技能のイメージを持ちやすくなっています。本文には知識、技能に関する記述や安全に関する記述が丁寧に示されています。全ての題材において問題解決的な学習が展開できるよう「見つめよう」、「計画しよう」、「実践しよう」、「生活に生かそう」、「新しい課題を見つけよう」のスリーステップが明記され、学習の見通しが持てるようになっています。新設された生活の課題と実践は、問題解決のファイブステップが示されています。本文では、「何々しよう」という指示の言葉で子どもの学習活動を示しています。自分の考えや友達の考えを記入できる欄が設けられていて、話し合い活動によって主体的な学びや対話的な学びにつながるように配慮がなされています。家庭や地域とのかかわり方を学習するために、「あなたは家庭や地域の宝物」が設定され、家庭や地域をよりよく元気にしていこうとする児童の実践が豊富に掲載されています。家族と団らんの学習では、4枚の挿絵の様子や会話について考えさせることを導入とし、団らんの大切さを考える設定となっています。食育の視点を生かした指導を行うため、朝食から健康な1日の生活を設定し、朝食の大切さや栄養バランスのよい食事の重要性を学習する内容になっています。学習で身につけた技能を家庭や地域などで生かすことができるように「生活を変えるチャンス」を5カ所掲載しています。家庭で実践する参考になるように実践の進め方を解説し、それまでの学びを総合し、取り組める「活動 深めよう」を掲載しています。

2、資料では、手順の説明は番号や見出しを大きくし、ポイントや注意が丁寧に説明されて見やすくなっています。A4版を用い、見開きで学習や作業が進行するようにレイアウトされ、写真、イラストが大きく見やすくなっています。巻末の「いつも確かめよう」では、実習技能が大きく取り上げられており、繰り返し見るのに適しています。調理や制作に関するデジタルコンテンツが用意され、ICT機器の活用への対応がなされています。

3、表記・表現では、マークを使い安全や防災、環境やキャリア教育など、資料や伝統などとの関連が一目でわかるようになっていきます。小学校5年生以降で学習する常用漢字には振り仮名をつけており、専門的な用語には脚注などで児童が理解しやすい簡単な表現で解説を補足しています。色のみによって区別する問題や表現を避け、黄色、赤などの文字をつけるような工夫がされています。本文と資料部分が明確に区別できるように罫線を使ったり背景に色を付けるなどの工夫も見られます。

4、総括では、2年間のまとめで中学校ではどのようなことをしたいか、考えられる設問があります。学習の進め方がスリーステップで示されており、ステップごとにめあてと振り返りがわかるため、課題を解決しながら生活をよりよくしようとする意欲が高められます。題材の終わりには「深めよう」があり、「学習を生かして考えよう、調べよう」などの活動例が掲載されています。他教科での学習内容と生活を家庭科で結びつける関連マークを用いており、中学校の内容も掲載しています。また、小学校英語と連携して、家庭科に関連のある英単語をページ番号付近にも掲載しています。

次に、開隆堂です。1、内容では、基礎的、基本的な知識、技能を段階的に身につけられるよう簡単なものから繰り返し積み重ねていくスモールステップを基本とした学習展開を示しています。技能レベルに合わせた実習を行えるよう、実習の難易度が示されているページもあります。身近な生活の中にある伝統文化について知る特設ページが巻末に設けられています。「見つける・気づく、わかる・できる、生かす・深める」のスリーステップで題材を構成しており、学習の見通しが持ちやすくなっています。新設された生活の課題と実践では、課題解決のためのファイブステップを示しています。本文では、「なぜ」、「どのように」といった言葉で学習の課題を立てており、生活のさまざまな場面を想起させるための写真やイラストを扉ページに掲載し、導入として活用しやすくなっています。家庭や地域とのかかわり方を学習するために、ともに生きる地域での生活が徹底され、「やってみよう地域のかかわりプロジェクト」として実践していく流れがわかりやすく掲載されています。家族との団らんの学習では、4枚の写真の共通点を考えさせることを導入とし、団らんの大切さを考える設定になっています。学習で身につけた技能を家庭や地域などで生かすことができるように、「レッツトライ」、「生活の課題と実践」として、5年生でも6年生でも取り組める3例を掲載しています。また、題材の最後には、「生活に生かそう」という書き込み欄が設けられ、実践意欲を高めることができます。さらに、長期休業中に取り組む活動として、環境、防災、伝統文化を意識させた事例を「家庭で実践しようチャレンジコーナー」で5カ所挙げています。

2、資料では、手順の説明では見開きの端から端までを使い背景に色をつけ、流れが一目でわかるようになっております。イラスト、小見出し、番号を使って理解しやすくなっております。図やイラストがやや小さ目で落ちついた紙面です。関連ページに掲載されているQRコードを読

み取ると、調理や制作の動画資料を見ることができ、ICT機器の活用への対応がされています。

3、表記・表現では、マークを使い安全や防災、環境やキャリア教育、資料や伝統などとの関連が一目でわかるようになっていきます。一口メモとして、用語の説明や用具、歴史など、本文と関連させた内容を掲載しています。実習や制作などの手順は、大きく全て横並びのデザインで統一しており、文の意味がつかみやすいように1つの単語が行をまたがないように調整されています。

4、総括では、2年間の学習の振り返りでは、中学校の学習内容の一部を写真と言葉で示し、学習のつながりを意識させています。学習の進め方がスリーステップで示されており、題材の初めに項目ごとのめあてがあり、何を学習するのかが明確になっています。また、題材の最後には「振り返り」、「生活に生かそう」のコーナーがあり、生活へ生かす意欲が喚起されるようになっています。他教科との学習内容のつながりには関連マークを用い、参照ページを挙げています。また、小学校英語と連携して家庭科に関係のある英単語をページ番号付近に掲載しています。

以上でございます。

**吉田教育長** ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それではまず、選定委員会としてどの教科書を推薦するか、ご説明をお願いします。

**大友選定副委員** 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員16名全員が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。80点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、68点、9番、開隆堂、77点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、77点の開隆堂、68点の東京書籍を推薦いたします。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

堀川委員。

**堀川委員** 選定委員会ではどのような話題が出ましたでしょうか。

**金塚選定委員（北越谷小教頭）** 選定委員会では主に3点話題となりました。1点目は、思考力、判断力、表現力を育成するための問題解決的な学習の展開についてです。東書は、学習過程が全ての題材についてスリーステップで示されており、開隆堂もまた学習過程がスリーステップで構成されており、新学習指導要領で新設された生活の課題と実践については、子どもたち

が自分で実践できるように開隆堂、東京書籍ともに、さらに詳しくファイブステップで示しております。

2点目は、調理実習についてです。各社とも学習指導要領で示された身につけるべき基礎・基本を写真などでわかりやすく示しております。青菜とジャガイモ以外の食材は指定されておらず、基礎・基本を学習する上で扱いやすい材料を使ったものを実践例として複数紹介しています。どちらの教科書も子どもたちが家でも実践可能な例を数多く示しております。

3点目は、教科書に示されたさまざまなマークについてです。教科書の内容について、児童にわかりやすく見やすくするために、各社ともマークを多数使っております。例えば安全、環境、伝統などに関連していることが一目でわかるようになっております。

以上でございます。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますでしょうか。

進藤委員。

**進藤委員** 安全指導についてはどのように扱っていましたか。

**金塚選定委員（北越谷小教頭）** どちらの教科書も、安全マークというマークを使ってわかりやすく示しております。食生活の分野でのガスコンロの使い方、それから衣生活の分野での針などの管理はもちろんです。東書は青菜の根の洗い方にも触れて示しています。開隆堂は、卵のゆで方の学習のところでアレルギーにも触れています。両社とも安全への配慮が丁寧に示されております。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

荒木委員。

**荒木委員** 学校の調査報告書では、どの教科書会社の推薦が多かったのでしょうか。また、その主な理由についても教えてください。

**金塚選定委員（北越谷小教頭）** 家庭の教科書は2社ですが、学校からの推薦では開隆堂が26票、東京書籍が21票という結果でございました。

推薦理由としましては、開隆堂では、実生活に即した挿絵や写真が選ばれていてわかりやすい。さらに、学習の進め方がわかりやすい。見開きで進んでいくので、流れがつかみやすいなどの意見がございました。

東京書籍については、知識、技能面の記載が写真とイラストでわかりやすく丁寧に書かれている。教科書が大きく目で情報量が多い。実際の生活の場面から課題を探せるようになっており、説明や写真が丁寧に見やすいという記載がございました。

**吉田教育長** 他にございますか。よろしいですか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** 他になければ質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容、学習指導要領の教科の目標とかかわりについてご意見がございましたか。

渡辺委員。

**渡辺委員** まず、選定委員さんのご説明にもありましたように、どちらの教科書も的確に学習指導要領の視点を押さえて編集がされているというふうに思いました。例えば子どもたちが学習の見通しを持てるように、両教科書ともスリーステップを用いて内容を学習できるようになっていて、さらにその単元の終わりには必ず「振り返り」という項目を設けて学習の定着を図っているというふうに感じました。

また、新学習指導要領のほうで出てきました生活の課題と実践につきましても、両教科書とも家族と団らんの学習のところで、イラストや写真を用いてより体験的なことが学べるように構成を図っているというふうに感じました。

また、資料なんかにしましても大変見やすい工夫、背景に色づけをしたりとか、そのような工夫が見られて、どちらも非常によいと思いました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それでは、家庭生活でのところでもありましたけれども、地域とのかかわりという点でも両社ともよく書けているな、話題に出ているなというふうに思いました。特に開隆堂のほうは、120ページから「ともに生きる地域での生活」ということで、地域生活について書かれているのですけれども、地域でできることの中身についてもかなり具体的に書いていて、こういったことはやはり指導する必要があるかなということは少しずつわかりました。なかなか地域行事とか、そういうことに参加が少ないということがよく言われていて、自治会の参加率も下がってきているとか、それから防災のためとかそういうのを考えていくと、これから人口が減っていく世の中ですので、やはり地域で支え合うということがこれから本当に大事になってくると思いますので、家庭科でもこういったことに目を向けてもらえるということは、大変すばらしいことではないかなと思いましたので、それがすごく私の印象に残りました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** 私のほうから、多少関連してですけれども、新学習指導要領では基本理念として、よ

りよい社会を築いていくための資質能力を育むとしているわけですが、このためにはまずは課題を自分事として受けとめ、主体的に課題を解決していこうとすることが大事になってくる。先ほどは地域のことが具体的に挙がっているという視点がございましたけれども、開隆堂の8ページ、「家族の生活再発見」ということで、自分事として捉えやすいイラスト写真等から気づかせたりわかることを出させたりしております。また、58ページ、これも生活を支えるお金と物ということで、賢い消費者ということとも関連するのかもしれませんが、これも日常生活と関連づけて気づきやすくなっているかなというふうに思います。

それから、先ほど出ました「ともに生きる地域の生活」ということ等が挙げられるかと思いますが、こうした視点に立った工夫が見られることは、開隆堂の一つの特徴と言えると思います。また、本市において、かつて調理実習で実際に事故が起きたことがございましたが、開隆堂の6ページ、先ほど選定委員のほうから両方とも丁寧に扱っているよというお話がございましたけれども、この6ページには安全に実習しようという、こういうページがあって、主体的に考えさせる工夫がされているかなというふうに思います。「チェックしよう」という項目もかなり多く設定されているようです。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

**吉田教育長** それでは、調査の観点2、資料についてはいかがでしょうか。表記・表現と絡めてでもよろしいかと思いますが、ございますでしょうか。

荒木委員。

**荒木委員** 先ほどの見開きで進んでいくのが、流れがつかみやすいというお話も出ましたけれども、例えば料理のときに私自身がレシピ本を見て何か新しいものをつくるときにも、流れがよく見えるというのがつくりやすいなと痛感するので、どちらの教科書も見開きで調理の流れがよくわかるという点はよいと思いました。開隆堂の教科書の形は、実習などのとき、見開きで開いたままするときに使いやすいのではないかと感じました。

**吉田教育長** 関連してでもいいですが。

進藤委員。

**進藤委員** 先ほど来話題に出ているサイズの話なのですが、東京書籍のほうは、A4版の大きいサイズで、なおかつ146ページ、そして開隆堂のほうは若干コンパクトにまとまっていて138ページ、この差は多少東京書籍のほうは、ごめんなさい、はかっていないのでわからないのですけれども、やや重いのかなと。ただ、この大きさであったりとかボリュームが、資料の大きさであったりとか文字とか写真の大きさに反映しているのでは、一概にどちらがいいのかな、重いから持っていくかということ、今最近置き勉というのがはやっているようなので、置いておけばそれはそれで解決できてしまうことなので、どちらがいいのかなというところは、なかなか難しいものがあるの

かなというふうに感じました。

以上です。

**吉田教育長** よろしいですか。重さについてはどうですか。

**進藤委員** ごめんなさい、はからなくて。

**吉田教育長** いや、はかってあるのですけれども、教科書をたまたまはかっていなかったの、少し持ってこうやってやればわかるでしょう。

**渡辺委員** 少しはかってみました。東京書籍のほうは350グラムで、開隆堂が330グラムでした。20グラムなので、余り変わらないかなと思います。

**吉田教育長** 野口委員。

**野口教育長職務代理者** 先ほど学校からの支持されている票数、結構拮抗はしていると思うのですけれども、やはりこの大きさから行くと、本市では家庭科などの教科は何かコンパクト傾向にあるのかなと改めて感じたのですけれども、小さくて持ち運びとか、あるいは家庭科室に持っていったりして作業することもあるので、そういったところもきっと現場の先生方から、感覚としてこちらのほうがいいかなというふうな意見も出るのかなというふうに少し感じました。大きさも結構、技能教科に関しては、現場ではウエートを占めているのかなということを、改めて感じているのですけれども。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** なければ、調査の観点、総括についても含めてご意見ございますでしょうか。

進藤委員。

**進藤委員** さまざま委員さんからのお話も聞いて、本当にどちらがいいか、なかなか難しいなと思ったのですけれども、1点私のほうでつけ加えすれば、開隆堂さんのほうなのですけれども、「フオトランゲージ」というのがございまして、毎回の単元にありまして、ここから子どもたちが身近な話題とか興味関心から何かを気づいて、そこから学びに生かすというような工夫があって、そのところがいいかなというふうに思いました。すみません、つけ加えになりました。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** ないようですので、これより家庭の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

[選定委員退室]

**吉田教育長** 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、進藤委員、それから荒木委員を指名いたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

発行者番号、発行者、評価の合計点について、登録番号順に読み上げます。

2番 東京書籍 26点

9番 開隆堂出版 30点

以上のとおり小学校家庭の教科用図書は、9番、開隆堂出版を採択することに決しました。

---

#### ◎休憩の宣告

吉田教育長 それでは、午前中の審議はここまでとし、暫時休憩といたします。

次の小学校道徳について、13時から再開することといたします。

休憩 午後12時00分

再開 午後 1時00分

---

#### ◎開議の宣告

吉田教育長 休憩前に引き続き会議を始めます。

小学校道徳の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 道徳の教科用図書について、選定委員に選定資料の説明を求めます。

松本選定委員（川柳小教頭） それでは、失礼します。どの教科書会社も学習指導要領道徳科の目標に基づき児童が自分事として考え議論する道徳の実現に向けた取り組みで編集されておりました。

1の内容です。道徳的価値の意義及びその大切さなどを自分とのかかわりで理解させるためにどのような工夫が見られるかです。児童は道徳での学びを自分事として考えるには、自分の中に

あるさまざまな心を知る、いろいろな心を、学習を通して育てていこうとする意欲を持たせる、よりよい自分になれることへの期待を持たせることが必要と考えております。そして、学習をよりよくするための方法を知ること、話し合いの仕方などを知ることなども必要かなというふうに考えました。そこで、学習の進め方、オリエンテーションのページを設け、学習に対する意識、関心を高めたり、見通しを持った学習を促しているか、今現在の自己を捉えさせ、変容や成長への期待を持たせているかということ进行调查しました。どの教科書会社も道徳開きについてのページが設けられております。

特に東書では、こちらにあります。これから1年間で学ぶことを4つの視点それぞれで学ぶ教材と主題を見開きで示しております。また、「道徳の学習を進めるためには」というところで、流れや話し合いの約束、そして道徳の時間が始まるよというところでは、いろいろな学習の仕方があることをイラストで示したり、開いてみますと少しみんなで話し合ってみようというふうに練習をしたり、「こんな自分になりたいな」に書き込ませて成長していくことへの意欲や期待を高めていくようなページが設けられておりました。

また、光村図書ですけれども、巻頭には「みんな生きている、みんなで生きている」につなが詩が示されています。また、道徳の時間はこういう時間ですよというのが、学年ごとにいろいろ説明が違ってくるのですけれども、示されていて、多様な考えを大切に学習する時間であることを伝えております。次のページでは、内容項目ごとに主題と教材名をまとめ、見開きにし、1年間の学習の見通しや期待を持たせるようなつくりになっておりました。

次に、光文です。こちらでは「さあ道徳の時間が始まるよ」ということで、見開きで4つの視点について示されております。こちらです。そして、道徳の学び方で流れを示し、それからいろいろな場面でということ、学校、家、地域でということ、生活と学習のつながりを示し、あなたはどんな自分になりたいですかということ、内容分けをしております。

次に、学研です。巻頭紙面ではメッセージがあり、その後「道徳の学習が始まるよ」ということで、どんな時間でどんなことを考えるのかということを示しています。3年生以上は、それぞれ4つの視点で4つの扉としてわかりやすく示しています。次のところでは、「大きな心を育てよう」というテーマを示し、学年段階ごとにテーマを示して、主題名や教材名を並べた一覧があります。さらに、見開きを使って自分のことをいろいろ捉えて、これからの期待を持たせるようなページが設けられているのが特徴かなということでした。

次に、道徳性を育成するためという点について、道徳の時間での学びをどのような形で残していくか、足跡や記録、書き込みについて特に調べてみました。こちらは、ノートが用意されているのが学図、日文、あかつきになります。他のノートがない会社でも書き込む枠がそれぞれページの中に入れ込んであったり、後ろのほうに表が示してあったりというふうになっております。例えば東京書籍になりますが、「学習の記録」というのが後ろのほうについております。私が見て

いるのは5年生ですが、167ページに学習するごとに色を塗っていくというようなページがついております。また、学習の振り返り、このような形で表になっていて、日付や自己評価が書けるようになっています。そして、最初とそれに対して「これからも輝く自分に」ということで、未来の自分の期待というかそういうものを書くページがありました。また、最後のほうには切り取り式で学習のまとめがあり、学期ごとに振り返りを書き込む枠などが設けられております。

次に、学校図書です。こちらは道徳ノートがあります。最初の二、三ページのところですが、振り返ろうというのがあります。ここに振り返りを書いたり、またおうちの人からのコメントをもらったりする枠がついていたりします。こちらノートですので、一見開きごとに一内容項目を扱うような様式になっており、自分の考えと友達の考えを書くようなつくりになっております。また、「つなげていこう」という自己評価欄が教材ごとについている形です。

次ですが、あかつきです。こちらもノートになります。まず、こちらは問いに対して書き込むページと、それから感じたことや考えたことなどを書くようなつくりのノートになっています。それが項目ごとにあることで、半分ぐらいしたところを過ぎると、学習の記録として日付やタイトルとともに書き込む枠が設けられております。他にも少しずつ色違いで載せてあるのですが、話し合い活動の記録、また心に残っている授業の記録、体験活動の記録など、いろいろな場に応じて書くところが設けられております。さらに、最後には「心のしおり」というふうになっていて、おうちの人や先生に見てもらった印をつけたり、教材一覧に自己評価などを書くような表がつけられております。

(2) 番ですが、現代的な課題については、取り上げ方という点で特に調査しました。各社ともマークなどをつけて明らかにしたり、教材やコラムを組み合わせでユニット形式で連続で扱ったりと工夫されています。いじめを含む命に係る教材、情報モラルに関する教材は、各社とも特化して取り上げておりました。

例えば教出ですけれども、こちらでは巻末の一覧に現代的な課題との関係が示されております。こちらです。他に、あと目次のところを見ていただくとわかるのですけれども、下のほうに少しマークで「命を大切にするとか、「みんなと仲よくする」、「情報モラルについて理解する」などという形でマークがついていて、そのマークによってそれが使われていますよというのわかるようになっています。他に少し薄い黄色の囲みがあるのですが、それがその学年で特に大切なことを示しているということです。

また、日文も巻末の一覧にテーマとして現代的な課題が取り上げられておりました。こちら目次を見ていただくと取り扱われている部分がどれであるかというのがわかりやすいかと思いません。

光文も同じような形で一覧に現代的な課題として示してあり、何年生で特に考えたいことというのが、目次のところで黄色でユニット形式で扱っていますよというふうに表示されているかなと

思います。

次に、問題意識を持って考えさせるためにということで、こちらは教材と出会うページに示されているものについて特に調査してみました。考える視点として、4つの視点については各社とも教材の始まりに色分けやマークで示されており、4つの視点のマーク以外は冒頭に示されていないというのは、学研の教科書になります。学研のみあけてみますと、教材の最初に視点しか書かれていなくて、テーマとかはここに書かれておりません。

学図とあかつきも読み物のほうには書いてありませんが、ノートのほうを見ると示されている形になっております。

光村、日文、光文は主題名以外にもキャラクターによるナビゲートがついていたり、あらすじが示されていたり、主人公、登場人物がイラストで示されているなどというふうな特徴がありました。

(3) 番、発達段階に即し、狙いに迫るための工夫についてです。こちら各社とも教材ごとに狙いに迫るための問いが学年に応じた言葉で示されておりました。低中高の段階、または1から3年、4から6年というような段階で分けられて、それぞれの段階に応じて取り組めるものになっております。

また、取り上げた教材についてですが、こちら会社や学年によって多い少ないはありますけれども、各社とも題材に偉人や著名人を取り上げた教材があり、オリンピック・パラリンピックに関する教材、スポーツ選手を取り上げているものも多かったです。また、写真や資料、絵を見てどう感じるかどうするかなど、「あなたならどうですか」というような問いで終わるような教材も多かったと聞いています。

(4) 番です。考え議論する道徳を通してということですが、言語活動を充実するための工夫というところで特に調べてみました。問題解決的に考える教材については、思考や活動の流れを示しているところが大体多かったです。あと、「やってみよう」とかそういった言葉で示されているのですが、役割演技をしながら考えられるようにやり方を示したページも多数ありました。道徳で学んだことをもとに、他教科や生活に広げたりつなげたりしていけるようなコーナーが、「つなげよう、広げよう」というような形で示されているものもあります。また、人とよりよくかかわるためのスキルを身につけるようなコーナーや紹介するページがどこでもあつたりするようになっております。2番の資料になります。こちらは、各社とも絵や写真がふんだんに使われており、漫画形式で教材が進んでいくものも多くなっておりました。

3番の用語表記、漢字などですけれども、こちら各社とも理解が難しい用語については、必要な解説や脚注などを添えております。また、当該学年の配当漢字には全て振り仮名がついていたりしておりました。

(2) 番のユニバーサルデザイン化についてですが、こちら各社とも児童の発達段階に応じ

て文字の大きさや行間、字体が工夫されておりましたし、カラーユニバーサルデザインに配慮して判別しやすい配色や表現方法がされておりました。こちら表の中に重さが書いてはありますけれども、ある一学年取り出して測ったものですが、一番小さいものが一番軽いかということでもなかったというような結果になっております。

総括になりますが、こちらは、道徳の時間を要とし、全教育活動を通じて行う道徳教育の視点とか、学校、家庭、地域との連携という視点から特に調査をしてみました。各社とも自分の生活とかまちに目を向けさせるような、先ほども紹介した、「つながる」、「広がる」だったり、「つなげよう」とかというようなコーナーが設けられておりました。また、日本の伝統文化を紹介するコーナーを設けるなどもしております。保護者へのメッセージを示しているもの、保護者記入欄を設けているものもあります。家庭とともに道徳性を育むような取り上げ方で工夫されておりました。

以上になります。

**吉田教育長** ただいまの報告について質疑を願います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それではまず初めに、選定委員会としてどの教科書を推薦するか、ご説明ください。

**大友選定副委員長** 初日に事務局から説明があったと思いますが、小学校の道徳に関しましては他の教科とは異なり、2年前に採択を行い、既に全面実施しております。昨年度は新しい学習指導要領にのっとり改めて教科用図書の検定を行っておりますので、道徳につきましても本年度他の教科と同様に採択を行うこととなっております。

選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員16名全員が8種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。80点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、66点、11番、学校図書、49点、17番、教育出版、50点、38番、光村図書、57点、116番、日本文教出版、50点、208番、光文書院、59点、224番、学研、80点、232番、あかつき、47点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、80点の学研、66点の東京書籍、59点の光文書院を推薦いたします。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

堀川委員。

**堀川委員** 選定委員会ではどのような話題が出ましたでしょうか。

**松本選定委員（川柳小教頭）** 特に現代的な課題についての扱いが話題になりました。いじめ、情報モラルについては、調査でも報告したとおり各社で扱われております。情報モラルの低学年での扱いについて話題となりましたが、家の人と一緒に考える形の教材、それから巻末に情報モラルに関する資料を設けるなどして取り上げております。また、「情報モラル」とは書かれていなくても、人に対して嫌なことを言わないとか、情報モラルにつながる学習も各社充実していると思います。

以上です。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますでしょうか。

荒木委員。

**荒木委員** 学校の調査報告書にはどの教科書会社の推薦が多かったのでしょうか。また、その主な理由について教えてください。

**松本選定委員（川柳小教頭）** 推薦の多かった会社ですが、学校からの推薦では、まず学研が28票、光文が9票、東書が5票というような形になっております。

推薦理由につきまして、学研ですが、考えるポイントがわかりやすく、自身を振り返って書く欄があってよかった。児童にとって考えやすい教材であり、話し合いもいろいろなパターンを設定できるものになっているなどの記載がありました。

光文につきましては、課題がわかりやすく示されており、することが明確である。下に発問が書いてありわかりやすい、1年生でスマートフォンの使い方の学習が入っていて、時代の流れが意識されているといった記載がありました。

東書では、挿絵が現代的で明るい色遣いとかかわいらしさがある。自分を振り返る発問が出ており、オリエンテーションのページもよいなどの記載がありました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

進藤委員。

**進藤委員** 2年前の小学校道徳の採択の際に、越谷市における道徳が積み上げてきたものということが話題になったと記憶しておりますけれども、そのあたりをいま一度確認、説明をお願いいたします。

**松本選定委員（川柳小教頭）** 越谷市における道徳が積み上げてきたものとして、先進校を中心に各学校で積み上げてきた研究、実践の成果として上げられた6点あったかと思います。現在も通ずるものであると言えます。

1つ目ですが、総合単元的な道徳学習の計画です。これが道徳の時間を要として、全教育活動

を通じて行う道徳教育の推進を図るための計画になっております。道徳の学習で狙いとする内容項目に関する他の教育活動や家庭、地域との連携などについて、意図的、計画的に組み込んだものになっております。

2つ目ですが、子どもの主体的な学びを促す柱立てということで、教材から子どもたちが感じ取った問いや感動をもとに話し合いの柱を立てて問題を解決していくといった学習過程がベースとなっている授業を生かしてまいりました。

3つ目ですが、書く活動の重視です。書くことによって自己を見つめることを大切にしてきたのはもちろんですが、教科になる前から道徳ノートとかポートフォリオなども活用し、学びの足跡や成長の記録として残してきた学校もございました。

4つ目は、道徳の時間のオリエンテーションです。こちらは、調査の報告で述べたとおりとなりました。

5つ目が考え議論する道徳での展開ということで、質の高いいろんな指導法を研究、推進しております。

6つ目が教材教具の開発です。授業で使用する場面絵やキーワード等の短冊、紙芝居やペーパーアートなどを各校で作成しており、それを共有することで授業の充実を図っております。教材ごとに箱や手提げに保管する学校も多くあります。また、小中一貫教育の取り組みもあって、中学校でも浸透しているところです。

以上です。

**吉田教育長** 資料分析というのはどうですか。

**松本選定委員（川柳小教頭）** 資料分析については、各校で研究授業をするに当たって、今は個人だけでなく学年やその学年ブロックの中で一緒に共有しながら教材研究をしているということが効果あるかなと思います。

**吉田教育長** 教材教具等も同様に共有化されているというふうに考えていいですか。

**松本選定委員（川柳小教頭）** そうですね、はい。

**吉田教育長** 他にございますか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** なければ質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容、学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてご意見はございますか。

荒木委員。

**荒木委員** 学習指導要領の教科の目標とかかわりにつきまして、道徳的価値を自分とのかかわりで

理解させるための特徴として、学研は教材を冒頭の主題には出さず、児童の問題意識を大切にしています。また、巻頭では「自分のことを書いてみよう」といったページ、巻末には「心の宝物」という振り返りのページがあるのが印象的で、子どもたちが自分のこととして学べるのではないかと思います。

東書は、巻頭に4年生以上で、こんな自分になりたいなというのを書けるところがあり、巻末には全学年で学習のまとめが書けるようになっていきます。

光文は、巻頭に心に響くような1ページがありました。先ほどのご説明にも投げかけということで示されていましたが、絵でイメージを膨らませることができるようになっていて、そこに大きな文字で「あなたはどんな自分になりたいですか」と1行だけ書かれているページで、自己を見つめ、考えを深めることにつながると感じました。

それから、現代的な課題などを標題として取り上げる上での工夫としまして、どの教科書も現代的な課題として情報コラム、いじめ問題、防災、消費者教育などを扱っていますが、光村図書では情報モラルについてコラムがあったり、いじめについてタレントのメッセージがあったりします。関連するコラムを載せたり重点テーマとしてマークをつけたり、低学年から扱ったりと、取り上げる分量の違いはあるものの、どの教科書も具体的な課題を重視していることを実感いたしました。

以上です。

**吉田教育長** 関連してでもいいのですが、他にございますか。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それでは、荒木委員さんのほうからもお話ありましたけれども、学研の特徴として、主題名を最初に表に出さないというようなことがあるのかなと思って、「手品師」という、どの会社でも使っている題材について、少し私も調べてみたのですが、この「手品師」というのは、売れない手品師が売れる場面が得られそうだったので、それを投げうって、最後は少年との約束、1人のために手品を披露するというところで、非常に手品師の心の葛藤を描くといういい内容なのだろうなということで、各会社が使っているのかなというふうに思っているのですが、道徳の時間は、心の葛藤があるような教材がやはり、話し合いもしっかりできますし、深まっていくということで選ばれたのだと思うのですが、よく見ますと、扱っているのは5年生と6年生それぞれ違う学年になっているところもあるのですが、やはり主題名が出ているところが結構多いのです。誠実に生きるですとか、あるいは自分の心に誠実にとか、誠実で明るい心でとかと、そんな主題名が出ているところも多いのですが、学研のほうではそれを出さずに話し合いに入っていくということで、本市では子どもたちが話し合いの柱といいますか、話し合っていきたいところなんかを出して、そして話し合いを進めるという授業スタイルが一般的に広まってきているのかなと思いますので、そういったところでも現場

のほうで学研のほうがいいのではないかというような声が多いのかなというふうに思いました。

また、話し合いのポイントにつきましても、一応各社とも教材の終わりのほうに、ここは話し合ってもらいたいみたいなどころが出ているのですけれども、東書の「手品師」につきましても2点出ていましたかね。ただ、実際の授業では、恐らく子どもたちから出た話し合いの柱なんかもここで取り入れながら議論する道徳を展開するのかなと思いましたので、そういうところが一つの学研の特徴でもあるのかなというふうにも思いました。

それから、別冊ノートについても少しいろいろ見てみたのですけれども、題材によってはどんな書き方をさせたらいいのかなということも、きっとそれぞれ現場の工夫もあるのかなと。ノートがあるというのは、きちんと学習させられるといいですか、落ちがなく学習に取り組みさせられるというよさがあるのでしょうかけれども、若干形式的になる部分の危険性もあるのかなというふうにも感じました。そういった意味で、現場の声というのは、多くが学研ということになったのかなということで考えました。

私のほうからは以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

**渡辺委員** 選定委員さんの話にもあったかと思えますけれども、各社ともやはり主題を先に出すか出さないかというところで発行会社さんのコンセプトといいですか、その辺が分かれているところかなと思えますが、子どもから感じた点や感動をもとに話し合いの柱を立てていくような主体的な学びということを目指しているということを見ると、やはり主題が出ていない学研さんの教科書はいいのかなと思うのですけれども、一方、やはり課題が明確になっていけば話し合いも活性化すると思うので、その辺も考えたほうがいいなと思いました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** 先ほど来この資料分析というのと、それから教材の共有化というようなことがありましたけれども、これが進んでいるほうがよいかというふうに思いますが、この今までの積み重ねてきたもの、これが活用できる資料はどれだけ載っているかということも選出する場で重要な要素の一つになるかなというふうに思っております。そうすると、当然学研を使っておりますので、一応多いということになるかと思いますが、ここで幾つか資料が入れかわっているので、少し確認をしておきますけれども、学研の「みんなの道徳」6年の2ページ目を開いてもらうと目次が出てきますが、例えばここでは12ページの「幸せをいのって織るじゅうたん」であるとか36ページの「温かい声が生まれるとき」、上段行って左側4ページですけれども、「折り鶴にこめられた願い」、「帰ってきたクニマス」、それから下の段へ行って80ページの「おばあちゃんの指定

席」、106ページの「美を求めて 上村松園」、それから左側に行って144ページの「前を向いて」等々あるのですけれども、大体6年まででどのぐらいかという、あかつきは全然変わっていないのですよね、たしか。他は2から8ぐらい。これ学研はの場合ここでは今10本ぐらい上がったかと思うのですけれども、それでも学年を通すと6ぐらい、学年平均おしなべて言うと6ぐらい。それぐらいしか変わっていないので、変わったとはいえ、学研がそういう積み重ねの資料を活用できる、そういう関連する資料が多いということが言えるのかなということになります。

また、重さなんかも少し前回話題になったのですけれども、重さについては、1年生で見ると、ノートがあるものはノートを含めると最も重いもので418、420グラムぐらい。最も軽いものが270グラム、これは1年生ですけれども、この270グラムは東書で、次が光村の274グラムというふうになっております。

他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

**吉田教育長** なければ、調査の観点2と3、それから4、総括のところまでひっくるめて、何かご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

渡辺委員。

**渡辺委員** 全ての教科書を見ることはできなかったのですけれども、趣意書を読ませていただきまして、その中で教育出版のほうでは教材の種類、文章量に配慮して、子どもたちの発達に合わせて配慮して考えてあるということで、少し見てみましたら、その文章量が割と抑え目になっていて、その分その時間を考える時間とか議論する時間に持っていけないのではないかというふうに感じました。

以上でございます。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。よろしいですか。

荒木委員。

**荒木委員** 子どもたちの道徳性を育むためには、やはり教科書を使った道徳の時間だけでなく、日常生活や他教科、学校行事との関連を図っていくということが大切だと思います。子どもたちが自分たちの日常生活と結びつけて主体的に道徳の時間に取り組むために、児童がみずから感じる部分や感動を大事にしたいものです。

あと、小学生の保護者の方々から、お子さんが道徳の教科書を読むのが好きで、家でよく読んでいるという話を何度か耳にしたことがあります。児童が道徳の授業で考えたことを家に帰って家庭で話すということもいいと思います。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

**吉田教育長** ないようですので、これより道徳の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

**吉田教育長** 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

**吉田教育長** 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

**吉田教育長** それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

**吉田教育長** 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、渡辺委員、野口委員を指名いたします。

〔立会人立ち会いの上開票〕

**吉田教育長** 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

発行者番号、発行者、評価の合計点について、登録番号順に読み上げます。

2番	東京書籍	25点
11番	学校図書	19点
17番	教育出版	19点
38番	光村図書	24点
116番	日本文教出版	19点
208番	光文書院	24点
224番	学研教育みらい	30点
232番	廣済堂あかつき	17点

以上のとおり小学校道徳の教科書は、224番、学研教育みらいを採択することに決しました。

小学校社会の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

**吉田教育長** 社会の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

**鈴木選定委員（蒲生第二小校長）** それでは、社会科に係る教科書についてご説明させていただきます。

まずは、東京書籍から調査の観点に沿って、特に特徴的なところについて申し上げます。まず、1、内容の（1）、知識及び技能の習得のための工夫としましては、学習上重要なキーワードを言

葉として明示して、学習内容の確実な習得に役立てております。また、学び方コーナーを設け、学習技能を系統的に習得できるようにしております。

(2)、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫といたしましては、まとめる場面において、文章でまとめたり、発表したり、話し合うなどしたりして言語活動を重視しながら多様な表現活動を提示しております。生かす場面では、社会的な事象に参画、提案することができるよう自分にできることを考えさせたり、選択、判断できる場面を設定したりできるようにしております。

(3)、学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫といたしまして、単元導入部での写真はとりわけ大きく表示され、児童への学習意欲の喚起につながるよう工夫されております。地域社会の一員として学んだことをさまざまなまとめ方で発表できるようにしており、特に古くから残る建造物や地域の伝統的な文化などを調べる学習を随所に設けてあります。

(4)、学習問題の追求、解決するための活動におきましては、単元全体のめあて、小単元の学習問題、本義のめあてを紙面上に明記し、学習段階を示した学習の進め方を設けながら教科書を使って学習が進められるよう工夫されております。

2の資料につきましては、写真、地図、イラスト等が豊富であり、児童の興味関心を引き出す工夫がされております。特に導入部では、一つ一つの資料に対しての児童の反応例が示され、組み合わせながら学習問題を想起できるよう工夫されております。6年の歴史では、イラストよりも実際の写真や歴史的資料が多く使われており、中心資料も大きく掲載されております。

3、表記・表現におきましては、言葉で取り上げる用語は、本文中で太字になって解説しており、重要語句として認識できるようにしております。未習の漢字や難語句については、ルビがつけられております。また、図表は色だけでなく形や模様などでも識別しやすいよう工夫され、カラーユニバーサルデザインを採用し、児童にとって読みやすいよう配慮されております。

4、総括でございます。単元ごとに生かすが盛り込まれ、学んだことを自分の生活に結びつけられるようにしております。教科書の右下には他教科とのかかわりが記載されております。Dマークとしてインターネットを活用した学習方法も提示しております。

次に、教育出版につきまして調査の観点に沿って特に特徴的なところについて申し上げます。まず、1、内容の(1)、知識及び技能の習得のための工夫といたしましては、問題解決に活用すべき知識や概念をキーワードとして明示し、学習内容の確実な習得に役立てております。また、学びの手引を設け、重視すべき学習技能を系統的に習得できるように配置し、社会的な見方や考え方を働かせた学びができるようにしております。

(2)、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫といたしましては、自分なりの考えを表現し合う選択、判断や構想として明示し、無理なく実際に取り組みやすいよう事例を多用に紹介しております。社会参画することができるよう資質や能力、意欲を段階的に高められるよう工

夫されております。

(3)、学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫といたしまして、より現代的な課題を提示し、児童が身近な問題として捉えられるよう工夫されております。また、社会的事象にかかわる方のインタビューが掲載され、多角的な思考や理解を促す記載となっております。日本各地のすぐれた伝統や文化、それらの継承に努める人々について、各学年で多様な事例で紹介されております。

(4)、学習問題の追求、解決するための活動においては、各時間における学習の進め方の例が3段階で簡潔に表記され、見通しを持って学習できるようにしております。さらに、各単元の冒頭では問題を解決していくための道筋をわかりやすく表示し、学習がスムーズに行えるよう工夫されております。

2の資料につきましては、写真、地図、イラスト等が豊富であり、児童の興味関心を引き出す工夫がされております。特に複数の資料から関連づけて考える際の選択方法が示唆されており、児童が社会的事象を結びつけて考えるための手助けとなっております。6年の歴史では、中心資料に大きなイラストを多く掲載されており、意図的に読み取りしやすいよう工夫されております。

3、表記・表現におきましては、キーワードで取り上げる用語は、本文中で太字になって解説しており、重要語句として認識できるようにしております。未習の漢字や難語句については、ルビがつけられております。また、単元や学習内容の区切りについては、統一して色を設定するよう工夫され、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを採用し、児童にとって読みやすいよう配慮されております。

4、総括でございます。巻頭ページには他教科とのかかわりが記載されております。学びのリンクとして、ウェブサイトで見られるようにするなどの工夫をしております。巻末の社会科ガイドでは、インタビューの仕方や手紙の書き方など、今後役に立つ情報を記載しております。

次に、日本文教出版について、調査の観点に沿って、特に特徴的なところについて申し上げます。まず1、内容の(1)、知識及び技能の習得のための工夫といたしましては、学習上重要な語句をキーワード、難しい言葉として明示して、学習内容の確実な習得に役立てております。また、社会的な見方、考え方の3つの視点を設け、具体方法として見方、考え方コーナーや学び方、調べ方コーナーを設け、社会的事象の特色や意味などが習得できるようにしております。

(2)、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫といたしましては、児童の立場からの発言や話し合い、調べ活動や表現活動、学習内容の整理の仕方、多角的な思考や選択、判断の内容を紹介しております。メディアの活用なども発達段階に応じて位置づけられております。

(3)、学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫といたしまして、より現代的な課題を提示し、児童が身近な問題として捉えられるよう工夫されております。また、地域社会の一員としての自覚を育むため、学んだことをさまざまなまとめ方で表現できるよう工夫されております。

日本における伝統文化を大切に、多文化共生にも目を向け、児童がグローバル社会に対応できるよう工夫されております。

(4)、問題解決的な学習を促す工夫がされております。児童が問題意識を持って学習に取り組めるよう工夫されております。また、児童の考えが深まっていく様子をイラスト等を使いながら学習課程に沿って掲載されております。

2の資料につきましては、写真、地図、イラスト等が豊富であり、児童の興味関心を引き出す工夫がされております。特に一つ一つの資料に対しての児童の反応例が掲載され、問題解決的な学習を促す工夫をしております。6年の歴史では、写真やイラスト、想像図とは別に学習内容の補助資料が掲載されております。

3、表記・表現におきましては、キーワード、難しい言葉を区別しながら記載し、本文中で太字になって解説しており、重要語句として認識できるようにしております。未習の漢字や難語句については、ルビがつけられております。また、単元や学習内容の区切りにつきましては、統一して色を設定するよう工夫され、カラーユニバーサルデザインを採用し、児童にとって読みやすいよう配慮されております。

4、総括でございます。学習した後に「私たちの学びを生かそう」の読み物を掲載し、学習の広がり意識した構成になっております。社会的な見方、考え方の3つの視点として、空間、時間、自分の3つの視点を設け、自分の生活と結びつけられるよう工夫されております。他教科とは関連づけて学習できるようになっております。

以上でございます。

**吉田教育長** ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それではまず初めに、選定委員会としてどの教科書を推薦するか、ご説明をお願いします。

**大友選定副委員長** 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員16名全員が3種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。80点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、80点、17番、教育出版、59点、116番、日本文教出版、60点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、80点の東京書籍、60点の日本文教出版、59点の教育出版を推薦いたします。

**吉田教育長** 他にございますか。

堀川委員。

**堀川委員** 選定委員会ではどのような話題が出ましたでしょうか。

**鈴木選定委員（蒲生第二小校長）** 選定委員会では主に2点話題となりました。

1点目は、1冊か分冊かということです。5、6年生につきまして、日本文教出版、教育出版は1冊になっており、東京書籍はそれぞれ5年生から分冊になっております。内容は、ともに学習指導要領にのっとり、変わりはありません。分冊の場合は、持ち運びやすいがなくす可能性もあるという意見が出ました。

2点目は、情報モラルについてどのように取り上げられているかという点です。各社ともに5年生の情報の学習の際に、インターネット利用で起こる問題例を取り上げ、情報活用のルールやマナーにつきまして、東京書籍、教育出版は合計8ページ、日本文教出版は合計4ページにわたって取り扱っております。

以上でございます。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

**渡辺委員** 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったですか。また、その主な理由について教えてください。

**鈴木選定委員（蒲生第二小校長）** 学校からの推薦では、東京書籍を推薦する学校が最も多く29票、次いで日本文教出版の8票という結果でございました。

推薦理由といたしましては、東京書籍では、学習内容を示すめあての文言が適切で、課題解決の過程が見通しやすい、まとめるの学習活動で習得した知識の効果的活用が示唆されております。資料が豊富で、大きく見やすいなどの記載がございました。

日本文教出版は、写真や絵など、資料の使い方がよい、課題が子どもにとってわかりやすい文言になっている。新しく取り組む4年、「洪水」の単元がよくまとまっているなどの意見がございました。

以上でございます。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますか。

荒木委員。

**荒木委員** 自然災害について、各社どのように取り上げていますでしょうか。

**鈴木選定委員（蒲生第二小校長）** 越谷でも数年前に大雨による洪水の被害がありましたが、各社ともに自然災害について取り上げております。埼玉県に関する内容といたしまして、東京書籍は春日部市、加須市、教育出版は春日部市、渡良瀬遊水地、日本文教出版は埼玉県ではなく、茨城県の常総市と沖縄県那覇市などを取り上げております。

以上でございます。

**吉田教育長** 他にございますか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** なければ質疑を終わります。

それでは、協議に入らせていただきます。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてご意見ございますか。

進藤委員。

**進藤委員** 知識であるとか情報を適切にまとめる技能というのが大変重要であるということは言うまでもなく、かとしてはそれぞれにそれらを習得させるためにいろいろ工夫しているなど感じました。例えば東書では重要なキーワードを側注の言葉で明示して、巻末にその索引を設けております。また、随所に学び方コーナーというものを設け、そこで調査方法や資料の見方、読み取り方などを示していました。

教育出版社に関しましては、語句をキーワードで取り入れて巻末に索引を設けていました。学びの手引というところを設けていて、学習の場面に応じた調査方法で資料の見方、読み取り方を示していました。

日文に関しましては、重要な語句を側注のキーワード、難しい言葉で解説し、巻末にその索引を設け、学び方、調べ方等の調査方法や表現方法などを示していました。こういった資料の読み取り方や調べ方というのは、社会科に限ったことではなく、他教科においても非常に役立つ技能だと思いました。

以上です。

**吉田教育長** 関連して、また他にでもいいですが、ご意見ございますでしょうか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** なければ、私のほうから一つ、同じようなことになってしまうのですが、学習過程については、進藤委員さんおっしゃったように、どの社も工夫しておりますけれども、若干の違いはあろうかと思えます。ちなみに東書では、つかんで気づきや疑問を持ち、そこから学習問題をつくり、答えを予想するというのをやり、次に調べやまとめ、そして予想がどうだったかを振り返るという流れの中で、主体的、対話的で深い学びをしていくように構成されております。ここも大体同じようになっているわけですが、また学習の最後の段階で、「生かす」を設定して次の学習につなげるという、実際にどういうふうになっていくのかということで、東書の3年生と4年生を少し並べてみていただければわかるかと思うのですが、まず3年生の3ページ見ると、「まちたんけん」というので、これは2年生のときに生活科でやったものが地図として載せてあります。これを活用しながら8ページ、9ページを見ると学校の周りの絵地図、これから入って、次

の10ページでは地形図、そして13ページでは学校の周りの航空写真、そしてこれが14ページに行くと市全体に広がった航空写真、16ページには地図、こういうところから気づきや疑問を出させる。ここまでがつかむ段階で、そして17ページ下のところにありますけれども、これで学習問題をつくと。その後は、この学習問題に沿って20ページから29ページまで調べるというのをやって、そして30ページで学習問題を確認しながら予想したことを踏まえまとめ、振り返りをやるということになっております。

さらに、32ページを見ていただくと、「生かす」というところがあるのですけれども、「こんなときどうする」、どうするカードを使って、地図から得られる地図情報をもとに伝え合う学習を行い、そして4年生の16ページを開けていただくとわかると思うのですが、今度は県に広がって、同じように地図から話し合いをすると、こういう学習につなげております。こうした学習は、実際のところは、越谷市や埼玉県の副読本を使って学習することになるわけですが、この学習の流れが3年の18ページ、これに極めて簡潔にまとめてあります。さらに、同じく4年生の18ページ、ここにも同じように、全くではありませんけれども、同じような内容で掲載されて、わかりやすく示されておりました。

以下、同様な学習を繰り返すようになるのですか、この教科書は。そして、その既習事項を活用し、思考を深めるなどして課題を解決していく能力が身につくように工夫されている。報告書にもこうしたことに言及している記述が多く見られるようになっていきます。

他にございますでしょうか。

進藤委員。

**進藤委員** 今と少し関連するかもしれませんが、学んだことを生かすというところで、非常にまとめる項目の中でおもしろいなと思ったのが、例えば東書のことなのですが、社会の歴史編の23ページです。ここでは図表を活用したり、あとは新聞づくりをしてみようということで、その時代の新聞をつくって社説を書いてみようであるとか、あと41ページでは、「平安時代の文化についてキャッチコピーをつくってみよう」というふうな、非常にユニークな観点からのいろんなまとめ方をさせて学習の定着を図っているような工夫が見られるなというふうに感じました。

以上です。

**吉田教育長** つけ加えて、少し重さがあったものですから、言いたいと思って何回も言っているのですが、教科用図書の重さについてなのですが、東書だけが5、6年で分冊になっているということですよ。1冊になっているものでは一番重いもので550グラムになります。3年で比べると300から340グラムで大きな違いはない。東書では現在使っているものを比較すると、前も東書を使っているの、それを比較すると4年を除いてページ数も重さも若干増えているということになっています。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

**吉田教育長** それでは、先ほどと同じになりますが、資料、それから表記・表現、それから総括、3つまとめてになりますが、ご意見がありましたらお願いをいたします。

荒木委員。

**荒木委員** 先ほどの自然災害について、春日部市の例が取り上げられているとお話がありましたが、身近な場所を資料として取り上げられているのは、子どもたちの関心を高めると思いました。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それでは、資料についてなのですが、今、選定委員さんからもご報告あったように、教育出版はどちらかというと大きなイラストなんかを使って導入されていて、どちらがわかりやすいという子どももいるのだらうなというふうにも思いましたし、また一方で東書のように実際の写真とか歴史的資料を多く使っているところもあるので、それぞれ会社で工夫されているなというふうにも思いました。

それから、資料ですけれども、私少し確認したところがありまして、実は歴史の学習でよく使うのが、6年生が修学旅行で行く鎌倉ですけれども、この鎌倉をどうやって扱っているのかを調べたのを確認してみたのですが、東書でいうと50ページに出ている、教育出版では110ページ、111ページ、そして日本文教出版では100、203ページあたりに出ているのですけれども、よくこういった地図や写真などを修学旅行前になると6年生は廊下に貼り出したりして学習してから行くのだということで、取り組んでいる学校が多いですね。そのような時、やはり東書のほうはかなり資料がたくさん、何種類か載っているから多く出しているのかなというふうには感じました。あと、鎌倉街道、埼玉県と関係するところがあるのですけれども、その写真も載っていて、この辺もちょっとした工夫があるのかなというふうにも思いました。大体こういうところが廊下に張り出されて、修学旅行前になると各学校で使われているので、こういう機会に比較できてよかったなというふうにも思ったのですけれども。

それから、分冊の件も少し考えてみたのですけれども、小中一貫のことを考えると、分かれていても特段いいのかなと。それから、忘れてしまうのではないかとかという心配、なくしてしまうのではないかとかという心配もあるかと思うのですけれども、東書のほうの目次を見ると、1学期に使ってまた最後に使うのですよというのは、わかるようになってはいるのですよね。最初に私たちの生活と政治を学習して、その後日本の歴史への資料に行きますよ、そして世界の中に行こうという、こういう勉強を1年間しますよということが書かれているので、その辺については、特段大きな心配は要らないのかなと感じました。

以上です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 どの教科書も写真、地図、イラストが豊富で大きくて見やすいというようなことが書いてあったのですが、選定委員さんの説明にもありましたが、教出に関しては、6年の歴史が大きくて見やすいというようなことの説明がありましたが、そのほかにも政治のあたりのグラフであるとか、あとフローチャート図なども、決して教科書の上のほうとか端に少し載っかっているのではなくて、それこそ3分の1ぐらいを使って大きく表示されたりとかして、その分、文章のほうは少なくなるのですけれども、児童に考えさせるという意味では、いいのかなというふうに思いました。

以上でございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 ないようですので、これより社会の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

[選定委員退室]

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私と5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

[投票用紙配付]

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

[投票箱点検]

吉田教育長 順次投票をお願いいたします。

[順次投票]

吉田教育長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、堀川委員、進藤委員を指名いたします。

[立会人立ち会の上開票]

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

発行者番号、発行者、評価の合計について、登録番号順に読み上げます。

2番 東京書籍 30点

17番 教育出版 23点

116番 日本文教出版 23点

以上のとおり小学校社会の教科用図書は、2番、東京書籍を採択することに決しました。

小学校地図の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

**吉田教育長** 地図の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

**鈴木選定委員（蒲生第二小校長）** それでは、地図帳についてご説明させていただきます。

まず、東京書籍より調査の観点に沿いまして説明いたします。1、内容、(1)、知識及び技能が習得できる工夫といたしましては、地図の仕組みについて地図帳、1番、7ページ、8ページをご覧ください。東京書籍でございます。7ページ、8ページ、1番の番号が振っているかと思いますが、7ページ、8ページにおきまして、まず斜めからまちを眺め、そして2番目の資料、9ページ、10ページにおきまして、その地図を真上からまちを見、そして10ページの右下にあるように地図に移っていくという視点で展開しております。

資料3の地図帳の13ページ、14ページには、地図帳の使い方が詳しく載っております。また、地球儀の使い方も別のページで掲載されております。

(2)、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫といたしましては、資料の4、地図帳でいいますと71ページから74ページにかけてでございます。日本の産業や貿易、世界とのかかわりなどの社会的事象につきまして、地図やイラストを用いてわかりやすく掲載されております。また、統計等の字も大きく、児童が調べやすいよう工夫されております。

資料番号5、ページ数でいいますと97ページからでございます。ここでは自然災害について記載されており、防災の観点からも活用できるよう工夫されております。

(3)、学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫といたしましては、資料番号6、地図帳81、82ページでございます。ここでは「比べてみよう日本と世界」では、写真やイラストを用いて、世界と日本の河川や山、建造物等の違いについてわかりやすく掲載されております。これらのことから、自然と地図帳への親しみを持ちながら学習できるよう工夫されております。

(4)、地図、資料の特徴といたしましては、統計の索引元を掲載しており、信頼できる資料に基づいて作成していることがうかがえます。また、伝統工芸品や名産物品を数多く取り上げることで郷土愛を育めるよう工夫されております。

2、資料でございます。京都市中心部、また資料番号7、47、48、49ページにおきましては、首都東京を5万分の1で表示し、大きくわかりやすく掲載しております。特に首都東京では織り込みを使って3ページにわたって掲載しております。

なお、資料のページは21ページあり、そこには厳選した資料を掲載しております。また、先ほど説明させていただきました資料番号8、地図帳98ページをご覧ください。「日本の自然災害」では、マグニチュード5以上で被害の大きかった地震が全て掲載しており、児童の防災意識を高める工夫がされております。

3、表記・表現でございます。ここでは人物によるキャラクターによる問いかけを通して、各地の特色などを学ばせる工夫をしております。また、ユニバーサルデザインフォントが採用されているとともに、光の反射を抑える用紙を使っております。

4、総括でございます。3年生からの使用を考慮し、親しみやすいキャラクターと一緒に地図学習ができるよう工夫されております。日本と世界のさまざまな比較資料や日本の歴史と世界の歴史の対応などのページが盛り込まれ、学びの広がり意識させる工夫が見られます。他教科や家庭での学習にも活用していく工夫も見られます。

続きまして、帝国書院について調査の観点に沿いまして説明いたします。1、内容、(1)、知識及び技能が習得できる工夫といたしましては、地図の仕組みについて、資料番号1、7ページ、8ページをご覧ください。ここでは「地図とは何だろう」という呼びかけから始まり、先ほどございました鳥瞰図等を使いながら、次の資料番号2、9ページから14ページにわたって地図のさまざまな約束事を掲載しております。そして、資料番号3、15ページから18ページにおきましては、地図帳の使い方を掲載しております。かなり詳しく掲載されており、一つ一つの知識、技能が習得できるよう工夫されております。

(2)、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫といたしましては、資料番号4、95ページから100ページにわたってでございます。ここでは日本の産業や貿易、世界との結びつき等の社会的事象について、地図やイラストを用いて詳しく掲載されております。特に主な農産物や工業の生産についても詳しく掲載され、より社会的事象を捉える工夫をしております。

(3)、学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫といたしましては、例といたしまして、資料番号5、37、38ページをご覧ください。ここの38ページ右上にあります「地図マスターへの道」を掲載し、問題を解くことで地図帳に親しみながら自然と地図帳の活用法や社会的な物の見方、考え方が身につけられるよう工夫されております。

(4)、地図、資料の特徴といたしましては、各グラフや凡例の下部に記載しておりますように、統計元を掲載しており、信頼できる資料に基づいて作成されていることがうかがえます。また、随所にイラストを配置し、児童がさまざまな社会的事象に対して親しみを持って思考を深めるための工夫がされております。

2、資料でございます。各地方の中心都市を中心にクローズアップし、土地利用の様子をつかみやすくする工夫をされております。また、奈良市、京都市中心部、そして首都東京を5万分の1で表示し、大きくわかりやすく掲載されております。資料のページは16ページあり、資料番号6、101、102ページをご覧ください。ここでは歴史年表や昔の境界とその地名、鎌倉の地図や世界文化遺産の写真も掲載されております。続けて、資料番号7、91から94ページでございます。ここでは自然災害と防災に関するページが4ページあり、過去の災害事例と災害を防ぐ工夫について、絵や写真を使いながらわかりやすく紹介されております。

3、表記・表現でございます。キャラクターによる吹き出しを設け、各地の特色などを学ばせ、興味関心を高める工夫をしております。また、色覚特性に配慮し、果樹園、田、畑などの下に地図記号が書かれております。ユニバーサルデザインフォントが採用されております。

4、総括でございます。3年生からの使用を考慮し、地図の約束で方位や凡例などをわかりやすく示しております。「地図マスターへの道」では、3年生から楽しみながら地図学習に取り組めるよう工夫が見られます。自然災害の事例や防災の工夫の特集ページで、学びの広がりを意識されております。また、他教科等との横断的な活用ができるよう工夫されております。

以上でございます。

**吉田教育長** ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それではまず初めに、選定委員会としてどの教科書を推薦するか、ご説明をお願いします。

**大友選定副委員長** 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員16名全員が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。80点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、66点、46番、帝国書院、78点という結果でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、78点の帝国書院、66点の東京書籍を推薦いたします。

以上でございます。

**吉田教育長** 他にございますか。

堀川委員。

**堀川委員** 選定委員会ではどのような話題が出ましたでしょうか。

**鈴木選定委員（蒲生第二小校長）** 選定委員会では、災害に関する地図記号が変わる点について、6月からウェブ上に公開されていることが話題となりました。今回の教科書採択の地図には間に合いませんが、安全教育にもつながる現代的課題の一つでもあるかと思っております。そのほか、各社ともに情報量が豊富で見やすく工夫されていると思えました。

以上でございます。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますか。

荒木委員。

**荒木委員** 学校の調査報告書では、どちらの教科書会社の推薦が多かったのでしょうか。また、そ

の主な理由について教えてください。

**鈴木選定委員(蒲生第二小校長)** 地図は2社ありましたが、学校からの推薦では、帝国書院が25票、東京書籍が16票という結果でございました。

推薦理由といたしましては、帝国書院は広げて大きく見られるページが多く、とても見やすい。文字も資料も大きさが適切である。色合いがよく見やすいなどの、見やすさと情報量についての記載が多数ございました。

東京書籍もまた情報量が多くて詳しく知ることができる。地図の見方について最初に詳しく示していて、入門期に使いやすい、シンプルで見やすいなどの記載がございました。

以上でございます。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますか。

渡辺委員。

**渡辺委員** 現在、越谷市内では地図は帝国で社会科の教科書は東書を使っていると思いますけれども、地図と教科書の会社が異なっているということで、何か不都合なことはございませんか。

**鈴木選定委員(蒲生第二小校長)** 現場の教員からは、特に困ったという声は聞いておりません。

両社ともによさはございますが、教科書との関連において心配なことはないように思われます。

以上でございます。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** なければ質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてご意見ございますでしょうか。

進藤委員。

**進藤委員** まず、先ほど来話題になっている教科書の重さの件に関して少し触れたいと思います。

まず、帝国に関しましては120ページで約350グラム弱、東書に関しましては102ページで385グラム弱、帝国のほうがページ数は多いのですが、重さはなぜか軽かったというふうな状態でした。そもそも地図帳というのは、社会科だけではなくて他教科でも使う、あるいは日常生活でも使う機会が大変多いと思いますので、知識や技能が載っていることはとても大切だと思いますが、両社ともに非常に工夫が凝らされていると思いました。両方とも冒頭の部分で、先ほど来の説明にもありましたとおり、地図帳の使い方であるとか地図の約束事について説明を行っておりますけれども、この部分に関しましては、帝国のほうが全体としてのボリュームも、説明ページも多少

多く割かれており、少し詳細かなというふうな印象でした。また、「トライ」という作業的な学習も設けられていました。

また、世界地図を見るに当たっては、多分地球儀が出てくると思うのですが、世界地図に入る前の段階で両社ともに写真とかイラストを用いて地球儀の使い方を詳しく説明してありました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** 私のほうから、選定委員のほうから詳しくありましたが、再度少しダブるかもしれませんが、確認をしながら考えていきたいと思えます。等高線、それから地図記号、縮尺についてどういうふうに扱っているかということなのですが、東書では11ページ、これ見比べていただくと、先ほど来斜めに見て正面から見てということが入って行って、非常に流れはいいかなというふうに、自然になっているかなと思えます。11から14に等高線とか地図記号とかというのは、縮小型が載せてあります。

それから、87ページに飛ぶと、これについては索引が載せてあります。ここ結構索引は使うのですけれども、もう一回11ページに少し戻っていただいて、今度は帝国をあけてみますと、9ページのところに、「地図の約束」、先ほど来の説明にもありましたけれども、それから15ページに行くと「使い方」ということになっておりますが、例えばさっき見た索引ですと帝国の17ページを少し見ますと、意外と探せないのが、子どもたちは。これ索引が大きく、上と横と縦と横で見るのだよと出ています。それから、18ページ見ると縮尺の意味がわかるように、右側の地図、3段階になっているのですか、これで広がっていく、こういうようなことがあります。地図の11ページに戻って、「地図の約束」は大きくしてあるので、見やすいかなと思うのですが、これは一例なのですけれども、こうした点から報告書と比べてみながら、見やすいとかわかりやすいとか学習しやすいとか導入しやすいなどの観点から、どっちがその児童の思考に沿ってより工夫されているかというような違いが見えてくるかなというふうに思えます。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** それでは、資料、表記、それから表現、総括について、まとめてご意見を伺います。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それでは、資料のことになりますか、先ほど東京とか京都、東書のほうでは碁盤の道を表示しているとかいう話がありましたけれども、帝国書院の63、64、65には東京都を中心に、その周りについても出ているのです。その前に、61、62は都心のほうが載っているわけですが、東書のほうが詳しく載っているというのはわかりますけれども、64、65あたり

は、一応越谷市まで含めた形で首都圏が載っているということで、越谷市のところには大型ショッピングセンターが載っているということで、子どもたちには親しみが持てるのかなというふうに思いました。東京都へのつながりとか土地利用の様子、これ3年生からこれ使うのです。そうしますと、低いところと台地とか少し市街地になっているところとかも、越谷市のみならず、ほかでの広がりも含めて、自分たちの地域とのつながりも見れるのかなということで、いいのかなというふうに思いました。

それから、この前も少し申し上げましたけれども、なかなか台地とか山とか見えないという地域ですので、越谷は。その地図を見ると西のほうに緑が非常に一体的に描かれているので、わかりやすいのかななんて思いました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** ないようですので、これより地図の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の皆様、ありがとうございました。

[選定委員退室]

**吉田教育長** 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

[投票用紙配付]

**吉田教育長** 次に、投票箱を改めさせます。

[投票箱点検]

**吉田教育長** 順次投票をお願いいたします。

[順次投票]

**吉田教育長** 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、荒木委員、渡辺委員を指名いたします。

[立会人立ち会の上開票]

**吉田教育長** 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

発行者番号、発行者、評価の合計点について、登録番号順に読み上げます。

2番 東京書籍 23点

46番 帝国書院 30点

以上のとおり小学校地図の教科用図書は、46番、帝国書院を採択することに決しました。

◎休憩の宣告

吉田教育長 それでは、ここで暫時休憩といたします。

次の小学校国語については、15時から再開することといたします。

休憩 午後 2時\_\_分

再開 午後 3時00分

---

◎開議の宣告

吉田教育長 休憩前に引き続き会議を始めます。

小学校国語の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 国語の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

小野寺選定委員（東越谷小校長） それでは、国語の教科用図書につきまして説明いたします。資料にお示しした報告内容の4観点に沿って報告をいたします。

観点1の内容につきまして、両社ともに知識、技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力、言語感覚、読書などを育成したり、習慣づけたりするための工夫がありました。

東書は、情報の扱い方で他教科や生活の中でも使えるように年度当初に単元を設定しています。また、伝え合う力を高めるために単元ごとに言葉の力が明記されています。また、主体的に学びに向かわせるために、巻頭に学習の進め方を提示し、見通しを持たせています。また、言語感覚を育成するために、読む単元末にその単元の重要語句の活用が示され、「言葉集め」のページでは論理的思考にかかわる言葉を学び、生かすことができます。巻末には語彙を増やす記載があります。さらに、読書教材は、夏休みや冬休み前の単元として配置し、有名作家と本とのかかわりを紹介し、関連する本と学年に合った図書を紹介しています。

続きまして、学図は、情報の扱い方で2つの思考力教材を設定し、言葉への見通しや考え方を広げていくさまざまな思考ツールを使用しています。また、伝え合う力を高めるために、相手や目的、場を意識し合えるような工夫がされており、対話を通したコミュニケーションを学ぶことができます。また、主体的に学びに向かわせるために、巻頭に学習の進め方とつけたい力を提示し、2年間の見通しを持たせています。また、言語感覚を育成するために文法について学び、練習問題で定着させたり、多様な言葉について学び合いを増やしたりする記載がありました。読む単元の下段に、辞書で調べる言葉が虫眼鏡のマークで示されています。さらに、読書単元では本についての話し合い活動等を行ったり、帯やポップをつくらせたりする等の教材が設定されています。

教出は、情報の扱い方で教材での情報の取り組みポイントを取り上げています。また、伝え合う力を高めるために実際の言語生活に生き、日常生活でどう伝えればよいかというソーシャルスキルトレーニング的題材が設定されています。また、主体的に学びに向かわせるためには、巻頭に1年間の学習を俯瞰できる学びの地図を提示し、見通しを持たせています。また、言語感覚を育成するために、単元末に単元の重要語句や言葉の意味を学ぶことができる教材、小単元では言葉集めを行い、語彙を増やすことができる教材があります。さらに、教材の関連図書を単元の最後で紹介したり、巻末で学年に応じた本を項目別に紹介したりしています。1年上から図書館を利用した学習が掲載ございました。

続いて、光村ですが、情報の扱い方で教材を年度当初に設定し、考えを深め、表現する思考ツールを示しています。また、伝え合う力を高めるために日常生活の中から題材を決め、集めたり企画したり、人とのかかわり合いの中で思いやりや考えを伝え合う工夫をしています。また、主体的に学びに向かわせるために、巻頭に学習の進め方と該当学年での学習内容を提示し、下段に全学年の学びを並列して掲載することで既習内容との系統性が明確になっています。単元扉に既習事項を示して学習の見通しを持たせています。また、言語感覚を育成するために言葉に関する単元が複数設定され、巻末に学年に応じて語彙を増やす教材があります。さらに、教材の関連図書を単元の最後で紹介したり、巻末で学年に応じた本を項目別に紹介したり、さまざまな読書活動、例えば人形劇やお話クイズ等などの紹介が記載されてきました。

続きまして、観点2の資料についてでございますが、こちらも4社ともに挿絵や写真、図など、学習効果を高めるために配慮、工夫が見られました。東書は、3年生以上の詩の学習では、あえて挿絵を入れずに自分でイメージを膨らませることができるようになっています。学図は、思考ツールをわかりやすく掲載し、かつ3年生以上の詩の学習では、挿絵がなく自分でイメージを膨らませることができるようになっています。

教出は、学習の流れを示したページでは、子どもや教師のイラスト等、吹き出しを使って内容が説明されており、学習の助けとなっています。

光村は、特に低学年では挿絵や写真が多く、親しみやすくなっています。

続きまして、観点3の表記・表現についてでございますが、こちらも4社ともに用語、漢字、記号の使用及び文章表現、字体、色遣い、レイアウト等、さらにはユニバーサルデザイン化について、発達段階や子どもたちの実態に対して配慮、工夫が見られました。

東書は、9種類の記号が使われており、単元ごとの脚注に音読み、訓読みも明記されています。脚注罫線にドットと行数を示しており、わかりやすくしてありました。

学図は、9種類の記号が使われており、脚注に国語辞典で調べてほしいことが明記されています。脚注罫線にドットや行数を示し、わかりやすくしてありました。

教出は、10種類の記号が使われており、学習の学びのところが子どもの言葉で説明してありま

した。古文では、括弧書きで現代仮名遣いのルビを振ることで全児童にわかりやすくしています。

光村は、9種類の記号が使われており、学習内容に対応する記号が示されています。グラフは線だけでなく記号でもわかるようにしてありました。

続きまして、観点4の総括でございますが、こちらも4社ともに学習内容の系統性や子どもたちの日常生活とつながり、他教科等との関連、小中の連携など、子どもの学びの広がりを意識させる工夫が見られました。

東書は、日常生活でのよりよい伝え方について学ぶことができる「生活の中の言葉」を取り扱っています。

学図は、年度初めのページに日常生活の場面の中でどのような伝え方をしたらよいかを学ぶことができる「言葉でつながる」を取り扱い、言葉集めにおいては、日常で見つけた言葉をためていき、語彙を増やすことができます。

教出は、各単元では日常生活にかかわりのある題材、例えばメールや手紙の書き方等が用いられており、話す、聞くの単元では日常生活の中で必要な伝え方について学ぶことができます。

光村は、3年生以上で生活の中で読もうという小単元が設定され、日常目にするものを読む学びがありまして、情報では日常生活の場面で思考を深める際の方法を学ぶことができます。

説明は以上でございます。

**吉田教育長** ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それではまず最初に、選定委員会としてどの教科書を推薦するか、ご説明をお願いします。

**大友選定副委員長** 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員16名全員が4種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。80点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、65点、11番、学校図書、50点、17番、教育出版、55点、38番、光村図書、80点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、80点の光村図書、65点の東京書籍、55点の教育出版を推薦いたします。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますか。

渡辺委員。

**渡辺委員** 選定委員会ではどのようなことが話題に上がりましたでしょうか。

**小野寺選定委員（東越谷小校長）** 選定委員会では主に4つの話題が出ました。

1点目でございますが、他教科との関連の中で、学びを深める教材についてでございます。理科や社会の学習に関連する教材の読み取りのような教科横断的な学びが多く見られます。その教材を通して学んだ後に小単元として活用したり、中には思考ツールを活用して思考を可視化したりするようなものもございました。

2点目でございますが、幼保小の連携についてでございます。どの出版社も1年生の入門期は巻頭に絵を用いて、文字が読めませんので、絵がありまして、その絵から学習に入るような導入の工夫が見られました。

3点目は、コミュニケーション能力の育成でございますが、こちらはコミュニケーション能力の育成における国語の役割は大変大きく、聞く、話す力の育成が重視されております。読むこと、書くこともペアで、またはグループで、そしてクラス全体でというように、教科書の中で具体的に例示されて、話し合いの形が示されているものもございました。

そのほか、分冊の教科書についても話題になりました。こちらが4点目になるのですが、上下に分かれているものと1冊になっているものがございます。今ランドセルの中身の重さということがありますが、重さの関係から、教科書が薄くなるといいというご意見もありました。文部科学省のほうでも置き勉について、いわゆる教科書等を家庭学習の必要がないものに関しては、学校に置いて、授業の前に配布するなんていう対応のほうも認めているということが報道等でもあったかと思いますが、国語については、なかなかやはり主要教科となりますので、学校と家を行き来しながら、毎日音読などもしてまいりますので、なかなか国語は日々持ち帰るような形を進めないと家庭での学習が進まないというようなご意見もございました。

以上でございます。

**吉田教育長** よろしいですか。何かあれば。

渡辺委員。

**渡辺委員** よろしいですか、済みません。そうなりますと、やはり1冊の厚い本よりも分冊されていたほうが、毎日持ち帰られればいいのかというふうに思うのですけれども、いかがでしょうか。

**小野寺選定委員（東越谷小学校長）** やはり本当に全ての教科書等を合わせた重量等を実際にはかたりしながら、いろいろ対応も考えているところでございますので、その辺のあたりを選定の一観点としては、設ける必要があると思いますが、あとは学校のほうで各学年等によって学校において活用することで有効なものと、やはり毎日ご家庭に持って帰っていただいて学習すべきものというものをしっかり分けて、どの学校も保護者の方に周知してやっているというところもあわせながら、選定の一つのポイントにしていくことは重要かと思えます。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますでしょうか。

進藤委員。

**進藤委員** 学校の調査報告書では、どの教科書会社の推薦が多かったのでしょうか。あわせて、その主な理由についても教えてください。

**小野寺選定委員（東越谷小校長）** 学校からの推薦でございますが、光村図書を推薦する学校が最も多く28票、続きまして東京書籍が13票です。教育出版が7票という結果でございます。

推薦の主な理由としましては、光村図書は話し合いなどコミュニケーションの場が多く設定されており、深い学びにつなげられるというものとか、単元で学ぶ内容は活動計画が示されているので、見通しを持って学習ができるとか、使いなれていて読みやすい。そして、「言葉の宝箱」が見開きになっており仲間分けされているので、子どもたちも読みやすい等の意見がございました。

東京書籍でございますが、ノートや感想の例が具体的に書かれているとか、高学年は1冊にまとめられており、年間を通しながら指導に当たることができる。そして、インターネット等、現代文化に即した内容の単元が多いなどの意見がございました。

また、教育出版社でございますが、大切な部分がわかりやすく押さえられているとか、挿絵が美しくやわらかいというものがございました。また、平和学習や環境学習につなげるものを含み、多様な物語文や説明文が掲載されている等の意見がございました。

以上でございます。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

荒木委員。

**荒木委員** このたびの学習指導要領改訂のポイントの一つが、語彙指導の充実だと思いますが、どのような形がありますでしょうか。

**小野寺選定委員（東越谷小校長）** 新学習指導要領では、語句の量を増やすために、1、2年生では身近なことを表す語句、3、4年生では様子や行動、気持ちや性格を表す語句、5、6年生では思考にかかわる語句の量を増やすとしております。それを踏まえまして、各社ともに巻頭、巻末、もちろん教科の中にもありますが、1年間で学習した言葉を集めたページを設けており、短文づくりとか周囲で分けたりした語彙を広げるためのさまざまな工夫がございました。例えば東京書籍では文の中で練習する「言葉集め」を設定して語彙を広げる工夫をしておりました。学校図書では、「言葉集め」というコーナーで1年間を通して語彙の集め方を示してありました。教育出版では学んだ語彙をグループ分けすることで多くの語彙に触れることとしておりました。光村図書は、「言葉の宝箱」というコーナーがございまして、こちらで4つの種類の語彙に特化して発達段階に応じて記載がございました。

以上でございます。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

**吉田教育長** 他になければ質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてご意見ございますか。

堀川委員。

**堀川委員** 学習指導要領とのかかわりについて、知識及び技能が習得できるようにするための工夫ということで、先ほどのご説明にもありました語彙指導についてなのですが、どの社も大変工夫されている印象です。先ほども出ましたけれども、光村の巻末にある「言葉の宝箱」は、「考えや気持ちを伝える言葉」と「学習に用いる言葉」で構成されておりまして、先ほども言いましたように、見開きでとても見やすく、質や量も十分ではないのかなと思いました。

東書も「言葉集め」ということで先ほどご説明ありましたけれども、さまざまな観点から言葉を集めて使う練習などをしております。また、巻末にある「言葉の広場」では、さらに多くの言葉と出会えるといった内容になっていまして、語彙を広げる工夫がされておりました。

それと、情報の扱い方ということなのですが、新学習指導要領の情報の扱い方に関する事項という点につきましては、各社意識して扱っている印象です。特に光村が充実しておりました、各学年の初めに「情報」というページを設けています。5年生、6年生ともに11ページのほうに「情報」というページを設けています。さらに、その「情報」のページの中の最後のほうに関連している内容のページを表していまして、その教材、どの教材で使われているかがわかるようになっております。

6年生でも「情報」というところがあるのですけれども、他に254ページになります。「考えを図で表そう」というところで、物の考え方、伝え方を示して関連性を図にしたり分類、比較するなど、他の教科の部でも活用できるような内容になっているかと思います。他に、我が国の言語文化ということで、光村では季節の言葉、東京書籍では季節の足音、学校図書では季節の便りなど挙げております。低学年ではしりとりや回文、数え歌など、また中学年ではことわざ、慣用句、俳文、短歌、高学年になりますと古典に触れたり、能や狂言などを取り上げて伝統的な言語文化にどの社も触れるような工夫がされております。

東京書籍の270ページになりますけれども、日本の伝統芸能ということで紹介しています。

また、光村図書では、6年生の282ページで、「時代を超えて伝わる古典」ということで、古典の歴史がわかるようになっているようなページもございました。

私からは以上です。

**吉田教育長** 他に、あるいは関連してありましたらご意見お願いいたします。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それでは、どの教科書も大変工夫された内容かなというのは思ったところなのですけれども、特に光村はずっと越谷では使われてきたというのもありまして、現場からの声も大分光村でという声が多いのかなと思いました。

光村のほうを見てみますと、各学年の初めの教材としては、大変それぞれの発達段階、学年の子どもたちの近い年齢の主人公が登場するというので、最初の教材から親しみが持てるような工夫もされておりますし、また何といても今までの道徳でも話が出ましたけれども、今まで蓄積された指導でもあって、結構各学年の文学作品だとか伝統的に使っているものと、それから新しいものと上手に織りまぜているのかなという印象を受けます。特に1年生では「おおきなかぶ」とか「おむすびころりん」とか、「くじらぐも」とか「たぬきの糸車」とか、あるいは2年生で「スイミー」、「お手紙」、「スーホの白い馬」、3年では「ちいちゃんのかげおくり」、「モチモチの木」、4年生、「白いぼうし」、「一つの花」、「ごんぎつね」、5年生の「大造じいさんとガン」、そして6年生は「やまなし」等、前も話に出たかもしれませんけれども、恐らく親の世代も学習したような内容がまた残っているというところも一つのポイントなのかなと。先生方、教員のほうもかつて教えた経験もあるので、取り組みやすいという意見も出ているのかな。もちろんほかの新しい教材も出ておりますので、そのあたりのバランスも上手に考えられているのかなというふうに思いました。

それから、先ほど堀川委員のほうからもありましたけれども、季節の言葉なども、どこの教科書会社も丁寧に扱っているなという印象を受けます。特に古典なども非常によく扱っていて、光村もそうですけれども、ややもすると、最近子どもたちの言葉遣いを見ていると、大分短縮形といますか、将来大丈夫かなと心配するところがあるのですけれども、どこの会社もやはり国語を大切にすることを育成するということでは、大変よく書かれているなと思いました。光村もやはり同様に、「季節の言葉」というコーナーですか、非常に的確に、中学にもずっとつながっていく内容だったかと思うのですけれども、五感とか季節を表す言葉について丁寧に扱っているなという印象を受けました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

**渡辺委員** 思考判断、表現にかかわってくるのかなと思うのですけれども、東京書籍のほうでは、巻末で「声のものさし」というのがあって、1は隣のお友達と話すとき、2はグループで話すとき、3は教室のみんなに話すとき、4は校庭で友達を呼ぶときという形で、1、2、3、4というふうになっていて、実際に教科書のほうでもそれがマークになっているのですけれども、友達と相談するときには1の声でとかというふうになっていて、わかりやすいなと思いました。1年

生ですとまだその辺がよくわからないのかなという気がいたしました。他の教科書においても、声の大きさ、大きく、小さくとかいうのは出ているところもありました。

それと、もう一点なのですけれども、これは学びに向かう力というのでしょうか、そこどころにかかわってくるかなと思うのですけれども、「1年生で図書館に行こう」というような、図書館の紹介をしている教科書が光村と、あと教出で見かけられて、1年生からもう図書館に足を運ぶということを紹介しているなというふうに気づきました。

以上でございます。

**吉田教育長** 他にございますか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** 私のほうからは、先ほど来分冊の話題がありましたけれども、参考までに。1年から4年では全者とも分冊になっていて、250グラムから大体310グラムの間になっています。1年で300グラムを超えているのは東書の下、教出の下というふうになっております。5年から6年で分冊でないのは、東書と光村で500グラム、これを超えています。光村では現在使っているものと今回のものと比較すると、1年を除いてページ数の差も若干ですが減っています。

また、教材の扱い方について、4年下で扱っている「ごんぎつね」、少し4年生の下のほうの「ごんぎつね」なのですが、東書だと32ページ、学図だと40ページ、教出だと6ページ、光村だと12ページ。これは、挿絵がいずれもあって、挿絵だけ見ても全部違いますものね。この表情とかどういふふうにこれ考えたらいいかというところも、これは挿絵一つとってもそれぞれ違いがあり、おもしろいなと思いました。

また、学習課程についても、この「ごんぎつね」の終わりに、例えば東書だと49ページから学習の流れが出ていますけれども、東書だと、つかむ、押さえる、理解。学図だと、これが60ページぐらいから出ています。めあての確認、それから見通しを持つ、学習手引を通して読み取る、振り返る。教出では44ページ目からですか、確かめる、考えよう、深めよう、広げよう。光村は、見通しを持とう、捉えよう、深めよう、まとめよう、広げよう、振り返ろう、こういうふうになって、さまざまだなと思っているのですが、新しい学習指導要領では、深い学びの実践が求められています。深い学びは何だろうかという、こういうことを聞かれることがあるのですけれども、深い学びにかかわるポイントの一つとして、教科ごとの物の見方、考え方、これどう育んでいくのかが挙げられるかと思えます。ちなみに、国語の教科としての特質に応じたものの見方、考え方、これは一体何なのだと。考えを深めるため対象と言葉、言葉と言葉の関係、言葉の意味、働き、使い方等に注目して、これは論理的、総合的、発展的に考えると整理することができる、こういうふうになされているのですけれども、この点から各教科用図書にどんなことが見えるか。これを見ていく必要があるのかなと思えます。

ちなみに、光村のこれは30ページに「ごんぎつね」のコーナーが出ていますけれども、この最

初の見通しを持つというところに気持ちを表す言葉や情景が描かれている。情景というのは、心が動かされるような場面とか風景のところを言うのだらうと思いますが、この見通しの中に、さっき言ったような国語的なものの見方、考え方、こうした考えに即した表が比較的明確にされているのかなというふうに思いました。

他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

**吉田教育長** なければ、先ほど来まとめてしまっておりますが、資料、表記・表現、総括についてご意見ございましたらお願いをいたします。

荒木委員。

**荒木委員** どの教科書もそれぞれに工夫されていると思いました。

光村は、挿絵、写真、資料が効果的に配置されていて、理解しやすいなという印象を持ちました。

**吉田教育長** 他に、関連してでも。

堀川委員。

**堀川委員** 子どもの学びの広がりを意識させる工夫ということで、光村の巻末のほうにあります「学習を広げよう」という付録があるのですけれども、5年生は241ページから、6年生は247ページからあります。学んできたことのまとめや確認などができますし、また日常生活や他教科で活用していくような工夫が示されております。情報のところでもありましたけれども、国語が他の教科のベースになるものではないかと思えます。習得した知識、技能をさまざまな場面で活用できるようにすることが大事かと思えますので、このような付録は大変参考になるのではないかなと思いました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますか。

よろしいですか。

〔発言する者なし〕

**吉田教育長** ないようですので、これより国語の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

**吉田教育長** 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

**吉田教育長** 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

それでは、開票及び集計に入ります。事務局の集計に当たりまして、立会人として、野口委員、堀川委員を指名いたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

発行者番号、発行者、評価の合計点について、登録番号順に読み上げます。

2番	東京書籍	25点
11番	学校図書	19点
17番	教育出版	21点
38番	光村図書	30点

以上のとおり小学校国語の教科用図書は、38番、光村図書を採択することに決しました。

小学校理科の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 理科の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

澤田選定委員（西方小校長） 失礼いたします。理科部会の澤田と申します。よろしくお願いたします。

それでは、それぞれの教科書についてご説明をいたします。内容につきましては、時間の関係もごございますので、(1)、(4)、(5)を中心にご説明させていただきます。

初めに、東京書籍、内容、知識及び技能が習得できるようにするための工夫でございます。ページを追うごとに観察、実験の手順がわかるように工夫して示されており、写真や図を使って観察、実験の仕方を説明しております。見通しを持って観察、実験を行うための工夫、単元冒頭に学習のめあてや生かせる既習内容を思い出す仕掛けがあり、見通しを持って学習に入ることができます。思考を整理したり、考える手がかりとなったりする内容がイラストの吹き出しに記述されております。自然の現象、事象についての問題を科学的に解決するための工夫、考察場面では結果からわかることを考える場面が設定されております。まとめの後に次の課題設定を促す記述があり、問題解決型の活動を促す視点を与えております。

資料です。絵や写真を見開きで配置したページがございます。A4版サイズの紙面を生かした大きな絵や写真を配置して工夫して掲載しております。巻末に観察、実験に必要な基礎技能や他教科とのかかわりが掲載されております。重要な技能については、複数学年にわたって掲載して

おるのが特徴でございます。学習意欲を高める模型資料が巻末にございます。

表記・表現、文体は敬体、問題は常体で記されております。未習の漢字には振り仮名がついております。重要語句は太字及び下線で表記されております。問題からまとめまでが線でくくられ、実験の手順は番号と矢印で示されております。

総括、巻頭では学年で学ぶことをエネルギー、粒子、生命、地球の4領域でまとめて記し、前の学年で学んだこととともに掲載することで学習内容の系統性がわかるようになっております。どの単元の学習でも初めに身近な自然現象を取り上げ、学習内容と日常生活がつながるように配慮されております。巻末に「算数科で学んだことを活用しよう」のコーナーがあり、他教科との関連が記載されております。安全に配慮が必要な箇所には赤で危険のマークを配置し、注意を促しております。

次に、大日本図書です。内容、知識及び技能が習得できるようにするための工夫、ページを追うごとに観察、実験の手順がわかるように工夫して示されており、写真や図を使って観察、実験の仕方を説明しております。見通しを持って観察、実験を行うための工夫、話し合いを通して問題に対する予想、観察、実験の計画を立て、見通しを持って観察、実験を進められる流れとなっております。思考を整理したり考える手がかりとなったりする内容がイラストの吹き出しに記述されておるのが特徴でございます。自然の事物、現象についての問題を化学的に解決するための工夫、問題設定場面や考察場面には必ず話し合い活動が取り入れられていて、キャラクターの対話形式で考えるための視点が示されております。また、実験結果や観察結果を効果的にまとめる方法も提示されております。

資料、絵や写真を見開きで配置したページがございます。巻末に観察、実験に必要な基礎技能が掲載されております。重要な技能については、複数学年にわたって掲載しております。巻末に学習意欲を高める図鑑や教科書に張って活用できるシール、資料が学年の内容に合わせてつけられております。シールにつきましては、3年生の教科書にそういったものがございます。

表記・表現、文体は敬体、問題や結論は常体で記されております。未習の漢字には振り仮名がついております。重要語句は太字で表記されており、わかりやすくなっております。単語や文節で改行しており、読みやすい工夫もされております。問題解決学習の課程は、マークと文字で記されております。

総括、巻頭では問題解決能力を踏まえた学習の仕方と学年で学ぶ内容を紹介しております。どの単元の学習でも初めに身近な自然現象を取り上げ、学習内容と日常生活がつながるように配慮されております。また、3年生では単元の初めに生活とのかかわりが明示されております。他の学年でも発展として中学校で学ぶことを明示しており、小中の連携に配慮されております。安全に配慮が必要な箇所には赤で注意のマークを配置し、注意を促しております。

次に、学校図書です。内容、知識及び技能を習得できるようにするための工夫、ページを追う

ごとに観察、実験の手順がわかるように番号をつけて示されております。写真や図を使って観察、実験の仕方を説明しております。見通しを持って観察、実験を行うための工夫、問題に対する予想、観察、実験の計画を立て、見通しを持って観察、実験を進められる流れとなっております。思考を整理し、考える手がかりとなる内容が吹き出しに記述されております。自然の事物、現象についての問題を化学的に解決するための工夫につきましては、考察までには予想と結果を比べて話し合う活動が設定されております。話し合いの視点が示され、話し合いがしやすくなっております。実験は、複数回行えるような記述や表記がございます。

資料、絵や写真を見開きで配置したページがございます。新出の実験器具の使い方は、単元中に取りまとめられております。重要技能については、複数学年にわたって掲載しております。単元の初めの章には構成とそれにかかわる写真、単元で身につけたい力が具体的に提示されております。

表記・表現、本文は敬体で記されております。問題やわかったことについて、3年は敬体、4から6年は常体で記されております。未習の漢字には振り仮名がついており、重要語句には太字で表記され、大事な言葉というものにつきましては、別枠の表記で強調されております。単語や分節で改行しており、読みやすい工夫がされております。問題からわかったことまでが線でくくられ、実験の手順は番号で記されております。

総括、巻頭では学年で学ぶことを、エネルギー、粒子、生命、地球の4領域でまとめて記し、栽培する植物とともに掲載されております。

次のページでは、問題解決能力を踏まえた学習の仕方を紹介しております。単元の導入や単元のまとめにおいて、身近な自然現象を取り上げ、学習内容と日常生活がつながるように配慮されております。安全に配慮が必要な箇所には赤で注意のマークを配置し、注意を促しております。

次に、教育出版でございます。内容、知識及び技能が習得できるようにするための工夫、ページを追うごとに観察、実験の手順がわかるように番号をつけて記されております。写真や図を使って観察、実験の仕方を説明しております。見通しを持って観察、実験を行うための工夫、話し合いを通して問題に対する予想、観察、実験の計画を立て、見通しを持って観察、実験を進められる流れとなっております。自然の事物、現象についての問題を化学的に解決するための工夫、問題設定場面や考察場面は、吹き出しを利用した話し合い活動を促す記述や絵の掲載が多く見られます。また、実験は複数回行えるような記述や表記がございます。

資料、絵や写真を見開きで配置したページがあり、見やすくなっております。観察、実験に必要な器具の使い方は、使用する単元に記載されております。単元の導入場面や各項目、話し合い場面で吹き出しが多く書かれており、見通しを持ちやすくなっております。巻末に学年に合わせたミニ図鑑や資料がございます。

表記・表現、文体は敬体、問題や結論は常体で示されております。未習の漢字には振り仮名が

ついております。重要語句は太字及び黄色ラインで表記されております。単語や分節で改行しており、読みやすい形になっております。問題からまとめまでが帯でくくられ、実験の手順は番号と矢印で示されております。

総括、巻頭では目次で学習内容を記し、前の学年で学んだこと、話し合いの仕方、学習の進め方、ノートのとり方を紹介しております。学習内容と日常生活がつながるように配慮されております。算数とのつながりや、3年生では音楽科や生活科などの既習事項との関連が別枠で提示されております。安全に配慮が必要な箇所では、赤で注意、危険のマークを配置し、注意を促しております。

最後に、啓林館でございます。内容、知識、ページ、技能が習得できるようにするための工夫、ページを追うごとに観察、実験の手順がわかるように番号をつけて示されております。写真や絵を使って観察、実験の仕方を説明しております。見通しを持って観察、実験を行うための工夫、単元冒頭に学習のめあてや生かせる既習内容を思い出す仕掛けがあり、見通しを持って学習に入ることができるようになっております。自然の事物、現象についての問題を科学的に解決するための工夫、考察場面では教師のイラストから問題を再度提示し、どんなことが言えるかを問う記述があり、話し合う視点が示されております。また、自然現象を言葉で説明させたり図に表したりする記述がございます。

資料、絵や写真を見開きで配置したページがございます。温かみのあるイラストが多く、親しみやすいつくりとなっております。また、実験に必要な写真やイラストは大きく掲載されております。観察、実験に必要な器具の使い方は、使用する単元や巻末に掲載されております。端末に学習意欲を高める模型資料等が添付されております。本文は敬体、問題からまとめまでは常体で記されております。未習の漢字には振り仮名がついております。語句は太字で、重要語句は太字で表記されており、単語や分節で改行しており、読みやすくなっております。問題からまとめまでが語尾でくくられ、実験の手順は番号で示されております。

総括、巻頭では目次で学習内容を記し、次のページに問題解決能力を踏まえた学習の仕方と学年で学ぶ内容を紹介しております。どの単元の学習でも導入やつなげようのコーナーで身近な自然現象を取り上げ、学習内容と日常生活がつながるように配慮されております。巻末の理科につながる算数の窓でグラフや単位、百分率等についてまとめてあり、他教科とも関連も記載されております。安全に配慮が必要な箇所につきましては、赤で多くの種類のマークを配置し、注意を促しております。

以上でございます。

**吉田教育長** ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それではまず初めに、選定委員会としてどの教科書を推薦するか、ご説明をお願いします。

**大友選定副委員長** 選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員16名全員が5種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。80点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、63点、4番、大日本図書、49点、11番、学校図書、78点、17番、教育出版、56点、61番、啓林館、51点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、78点の学校図書、63点の東京書籍、56点の教育出版を推薦いたします。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますか。

荒木委員。

**荒木委員** 選定委員会では他にどのような話題が出ましたでしょうか。

**澤田選定委員（西方小校長）** 理科では特に2点について話し合いをいたしました。1点目は、問題解決的な学習が増えている中で、最後のまとめ方の違いについて話し合いが行われました。課題を解決するための観察や実験を行った後、結果から振り返りを行う。結果から考察となっている。結果、考察、振り返りとなっているものなどがございます。越谷の子どもたちが学ぶ上でその点は非常に重要であるというふうなご意見がございました。

少し詳しくご説明いたしますと、各出版社で小学生の子どもたちにわかりやすく表現されているなというふうに感じました。例えばある出版社は、「まとめる」の中に「考察」、「深める」、「振り返る」、「注目する」が含まれているところがございます。また、「調べよう、伝えよう」の中に「結果」、「考察」、「結論」が含まれる。この教科書につきましては、考察から予想に戻っての振り返りという形をとっております。また、シンプルに「結果」、「考察」、「わかったこと」、「まとめる、生かす」と表記されている。また、「結果から考えよう」、「学びを広げよう」、「わかったことを表現する」等の形でまとまっているもの、また、まとめの後にわかったことから「新しい不思議を見つける」につなげている出版社等がございました。いずれも問題解決的な学習の課程を重視しながら、それぞれの教科書の特色が出ていると感じました。

そうした中、越谷市では教育委員会で作成しているブックレットの中で紹介されている板書の写真につきましては、「結果」、「考察」、「まとめ」とございます。また、中学校においては、現行の指導要領の教科書でございますけれども、5社とも「結果を考察して結論を導き出す」というふうな表記となっております。小学校段階でもそうした表記を用いているほうが、中学校に入っでのギャップは少ないのかなというふうに感じております。

そして、2点目でございますけれども、他教科とのつながりについてでございます。教科横断的な学びが重視される中で、理科においても、例えばグラフの読み方と特に算数との関連は大きいというご意見がございました。また、新学習指導要領におきましては、3年生で「音の伝わり方と大小」という内容が新規で加わります。音楽とのかかわりで「音楽で学んだことを思い出そう」という内容を取り扱う出版社もございました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

**渡辺委員** 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったでしょうか。また、その主な理由について教えてください。

**澤田選定委員（西方小校長）** 学校からの推薦では、学校図書を推薦する学校が最も多く25票、次いで東京書籍の13票、教育出版5票という結果でございました。

推薦理由としましては、学校図書ではなじみがあり使いやすい、また埼玉県東部の写真がたくさん使われており、児童の興味が湧きやすい。6年生電気の利用の単元では、プログラミングの説明に図などが用いられていてわかりやすい、最も解決の流れと学習のポイントが教科書見開きに掲載されており、思考過程が整理されやすい。実感を伴った理解につながりやすい等の記載がございました。

東京書籍では、身近な自然現象を取り上げ、日常生活と学習内容がつながるように配慮されている。課題、予想、実験方法、結果、考察の流れを強調している。イラストや絵が充実していてイメージしやすいつくりになっているなどの記載がございました。

また、教育出版につきましては、実験の手順や結果の書き方が詳しく載っている。写真、図が見やすく文字とのバランスがよい。ステップアップコーナーが使いやすい等々の記載がございました。

以上です。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますか。

進藤委員。

**進藤委員** 今回の学習指導要領では、プログラミング教育の導入というものが話題となっておりますけれども、理科の教科書との関連はどうなっていますか。

**澤田選定委員（西方小校長）** プログラミング教育につきましては、新しい理科の学習指導要領の中に例示と示されていることから、全ての教科書に6年生の電気の利用の単元で、発展としてプログラミングについて紹介されております。全ての教科書をきちんと取り扱いがされております。

**吉田教育長** よろしいですか。

他に、関連してありましたら。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** それでは、今お話にあったプログラミング教育については、2020年から各小学校で本格的に実施されることとなっておりますけれども、これは算数、理科の学習指導要領にも示されているようです。これは、選定委員さんというよりも、事務局のほうでそのあたりについては、どのように考えているか、お話しいただければありがたいのですけれども。

**吉田教育長** このことについても他の種目に関連することでございますので、事務局の説明を求めます。

指導課長。

**山口指導課長** それでは、本市の対応につきましてご説明いたします。

本市におきましても2020年度から各小学校でプログラミング教育を円滑に実施していきたいと考えております。そこで、まず本市の教育センターが中心となりまして手引を作成し、並行して教員への研修を進めているところでございます。その手引の内容なのですが、プログラミング教育の年間指導計画の案や実践事例等を掲載しまして、その手引に沿ってプログラミング教育の充実が図れるようになっております。したがって、今回の教科書採択においては、どの教科書が採択されましても、本市においてはプログラミング教育を行う、そういう体制を整えているところでございます。

以上です。

**吉田教育長** よろしいですか。

他にございますか。

**吉田教育長** なければ質疑を終わります。

それでは、協議を行います。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてご意見はございますか。

堀川委員。

**堀川委員** 知識、実験などに関する基本的な技術を身につけるようにするための工夫についてなのですけれども、どの教科書も写真や図を使って実験の手順をわかりやすく示していると思いました。また、学習の内容のところで使い方等出てくるのですけれども、巻末のほうでまたさらにそちらの使い方について丁寧に説明しているような会社もございました。

理科の学習の場合、観察や実験が好きな子どもも多いかと思っておりますけれども、準備や観察の仕方、正しい実験方法を身につけることが大事なのではないかなと思います。また、薬品や火などを扱う場合に、注意、危険など、赤い目につく色とマークを使って安全に配慮し、実験ができるように各社丁寧につくられている印象でございます。

それと、思考力、判断力、表現力という点についてですけれども、実験や観察などの結果から考察という、考察する場面が大事なのではないかなと思います。

東書では結果から自分で考え、また友達の考えを聞く中で考えが変わったり改正させたりという対話から思考力、表現力を育成するという場面も設定されているところがありました。

学校図書では、考察するというところの場面で視点が具体的に示されておりまして、思考を育成するよう手助けするような工夫がされているのではないかなと思います。

教育出版では、調べた結果から自分の予想が確かめられたかどうかを考えられるようになっていて、児童の思考の助けになるような工夫がされているのではないかなと思いました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** 先ほど選定委員会のほうから報告ありましたけれども、改めてみて最後の結果と考察については、各社若干差があるのだなということがわかりまして、説明聞いていてもよくわかりました。結構現場で支持していた学図さんですか、こちらは4年生の段階ぐらいからもう「考察」という言葉を使って、割と少し見た感じではシンプルにまとめられているのかなという印象を受けたのですけれども、そのあたりを現場としてもわかりやすいというふうに捉えたのかなというふうに思いました。よく、今子どもたちもやっているかと思うのですが、夏休み中の自由研究なんかでもこういうまとめ方をするので、そちらにも生かせるのかなというふうに思いました。

他のところでは、結果から考えようとか、そんな言い方をする会社もあるのかなと思うのですけれども、その辺は改めて現場の声ということで支持されているのかなということで、よくわかりました。

私のほうは以上です。

**吉田教育長** 他にございませんでしょうか。

渡辺委員。

**渡辺委員** まず、学図さんなのですけれども、学図さんの6年生の教科書を拝見したのですけれども、写真がとてもきれいだということと、あと人体図なども「ひだ」まであったり、とても細かく書かれていて、昆虫のイラストについてはもう図鑑を見ているような細かさで、やはりこういういいものを子どもに見せるというのは、とてもいいことだなというふうに感じました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

進藤委員。

**進藤委員** まず、先ほどの考察のところの部分なのですけれども、選定委員の先生から先ほどご説

明があった越谷市の教育委員会の板書のモデルということがありまして、こちらにはブックレットに載っている板書のモデルが結果、考察、まとめというふうな形でまとまっているということですが、最もこれになじみやすいのが、先ほど来出ている学図さんの考察のパターンなのかなということ、先ほどお話し聞きながら感じていました。今、渡辺委員さんのほうから出てきた資料が大変美しい、詳しいということですが、それほどこの教科書もそれは非常に感じたところですが、一番サイズの大きい私は東京書籍、こちらが非常に文字が大きくて見やすく、あとやはりサイズが大きいせいか、比較的余裕のあるつくりをしているなというふうな印象で、見やすいなと感じました。

以上です。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

荒木委員。

**荒木委員** 私も他の委員さんのお考えと同感なのですが、学図は考察視点が具体的に示されていて、思考力を育成する工夫がされていると思いました。

あと、写真につきましては、どの会社のも美しいと思って見させていただいたのですが、進藤先生と同じように、東京書籍のものが、文字も含めて、大きいなという印象を持ちました。

あと、学図では、単元の重要な場面で大きな写真を使用しているなという印象を持ちました。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

**吉田教育長** 私も同じような感じを持ったわけですが、観察、実験を充実させる部分ということでは、小学生というか、発達段階から操作が簡単で、かつ流れがわかりやすいということ、子どもの理解に直結するものであるということが大事になってくるかというふうに思いますけれども、この点、学図はかなりシンプルにまとまっているかなと。これは野口委員さんのほうからもございましたように、そんな感じがいたしました。

また、学習指導要領では、学力の3要素の一つの学びに向かう力、これを挙げているわけですが、この力を持たせる、つけていくためには既習の内容に触れたり、あるいはこれからの学習に見通しを持たせたりして、目的意識を持たせて取り組ませることも一つだと思いますけれども、身近なものを取り上げることもその一つになるというふうに思います。この点では、先ほど選定委員さん、これは学校の報告書をもとにしてお話になっていると思うのですが、越谷市民球場であるとか城ノ上小学校やリユースとか、こういうものを取り上げているというような報告があるのだと思います。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

**渡辺委員** 今教育長がおっしゃった学びに向かう力というところで言うと、東書の各単元の冒頭に

あります学習の内容のめあてを気づかせたりする「レッツスタート」ですか、これがこれから学ぶことについて、身近なところで興味関心を持たせて、それからその「レッツスタート」のところから実際に、では学んでみようかなという気持ちに持っていけないのかなというふうに思いました。

**吉田教育長** 他にございますでしょうか。

野口委員。

**野口教育長職務代理者** 先ほど進藤委員さんからもありましたけれども、東書のほうの写真とか文字の大きさとか、やはり効果的な使い方がされているなと思います。やはりこの大きさですよ、きっと恐らく他の教科でも出ていたように、大きいので現場のほうからはなかなか、私は少しサイズが小さいほうが一定支持もあるのかなということで、難しい部分があるなというふうに思いました。

それから、教育長さんからお話しあったように、随分学図のほうは、越谷市の城ノ上小ですとか市民球場ですとか、天体のところの学習では相当写真がふんだんに載っているの、その辺の親しみやすさというのもあるのかなというふうには思いました。

私からは以上です。

**吉田教育長** 内容1にかかわってということですが、資料とか表記・表現とか、総括の部分についても触れられたかなというふうに思います。

他にございますでしょうか。内容1、観点の1の内容以外にということですが、よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

**吉田教育長** なければ、理科の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

**吉田教育長** 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

**吉田教育長** 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

**吉田教育長** それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

**吉田教育長** 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんか。

開票及び集計に入ります。事務局の集計に当たりまして、立会人として、進藤委員、それから

荒木委員を指名いたします。

[立会人立ち会の上開票]

**吉田教育長** それでは、投票結果についてご報告をいたします。

発行者番号、発行者、評価の合計点について、登録番号順に読み上げます。

2番	東京書籍	27点
4番	大日本図書	19点
11番	学校図書	30点
17番	教育出版	23点
61番	新興出版社啓林館	19点

以上のとおり小学校理科の教科用図書は、11番、学校図書を採択することに決しました。

さて、現在審議しております第37号議案ですが、本日の審議はここまでとし、以降の種目につきましては、日を改めまして8月8日、木曜日、午前9時半から今回と同じ第3委員会室で引き続いて審議を行いたいと存じます。よろしいでしょうか。

[「異議なし」と答える者あり]

---

◎閉会の宣告

**吉田教育長** それでは、本日の会議はこれにて閉会といたします。

どうもお疲れさまでした。

(午後 4時25分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

教 育 長

吉 田 茂

委 員

野 口 久 男

委 員

堀 川 智 子

委 員

進 藤 秀 子

委 員

荒 木 明 子

委 員

渡 辺 律 子

書 記

教育総務課副課長

並 木 智 史